MONTHLY HOBBY JAPAN / JUN.2023 ISSUE / NO.648 // SEPARATE VOLUME APPENDIX

MASTER GRADE Ver.Ka ALL KIT GUIDE

MG MASTER GRADE Ver.Ka

月刊ホビージャパン2023年6月号別冊付録

MG Ver.Kaオールキットガイド









MG Ver.Ka 20th ANNIVERSARY!


MOBILE SUIT RX-78-2
GUNDAM Ver.Ka
SPECIFICATION / MODEL NUMBER : RX-78-2, HEIGHT : 18.0m, WEIGHT : 43.4t, MATERIAL : LUNA-TITANIUM ALLOY
ARMAMENTS / 60mm VULCAN×2, BEAM SABER×2, BEAM RIFLE, HYPER BAZOOKA
Assignment : EARTH FEDERATION SPACE FORCE
サンライズ
0114215
EFSF
EARTH FEDERATION SPACE FORCE
WB
RX-78-2 GUNDAM
102
WB 102 EFSF
E.F.S.F. PROTOTYPE CLOSE-COMBAT MOBILE SUIT
U.C.0079-U.C.0080
U.C.0079.09.18 The First Battle Encounter of Side7's 1 Bunch Colony.
U.C.0079.11.07 The Odessa Campaign starts.
U.C.0079.11.09 The Odessa Campaign is completed.
U.C.0079.11.30 Zeon's Descent to Jaburo Operation.
U.C.0079.12.24 Capture of Solomon.
U.C.0079.12.29 E.F.S.F. begins The Star One Campaign.
U.C.0079.12.31 The Battle of A Baoa Qu.
U.C.0080.01.01 The One-Year War ends.
©創通エージェンシー・サンライズ
パッケージの写真・イラストと商品とは、多少異なりますのでご了承ください。
MG
RX-78-2
注意
●取扱説明書を必ずお読みく
プラモデル®
対象年齢15才以上
[製品素材]
●PS
●ABS
●PE
●PETP
ふた、下箱



MONTHLY HOBBY JAPAN / JUN.2023 ISSUE / NO.648 / SEPARATE VOLUME APPENDIX

MASTER GRADE Ver.Ka ALL KIT GUIDE

月刊ホビージャパン2023年6月号別冊付録

MG Ver.Ka オールキットガイド

MG MASTER GRADE Ver.Ka

MG Ver.Ka 20th ANNIVERSARY!

※本書に記載している価格はすべて税10%込みの表記となります。
※データは2023年4月現在のものです。
※企画記事「MG Ver.Ka 20周年記念企画ドキュメンタリー"Ver.Ka"」は、月刊ホビージャパン2022年10月号～2023年2月号、2023年5月号に掲載した全6回をリサイズして再収録しました。

MSZ-006
ZETA GUNDAM



MG 1/100
MSZ-006
ゼータガンダム Ver.Ka

出典作品『機動戦士Zガンダム』
2023年4月29日発売予定　7150円

MG Ver.Ka 20周年の新たな挑戦となった2023年最新モデル。MS形態、ウェイブ・ライダー（WR）形態ともに"原点のゼータ"として、アニメオリジナルデザインを追求。MS形態では設定画で描かれた胸部ダクトの斜面や脚部の直線形状など意識しつつ、マッシブなプロポーションとなった。その立ち姿はRGやMG Ver.2.0とも異なる。一方、WR形態では機体の厚みを抑えつつ、特徴的なクサビ状のフォルムを再現。また、変形機構においては、収納、展開など細部ギミックにこだわりながらもストレスのないスムーズな変形を実現。各所ロック機構を採用することで、高い保持力をも有する。





頭部はシャープなフォルムで造形。カトキ氏の監修により、頭部サイズ、カメラアイ周囲の隈取り、眉間の長さ、インテークの厚みに至るまで細かな調整が図られた





機首（シールド）からフライング・アーマー、小翼へと流れるラインの美しさを追求。また、設定画で描かれた「逆V字」の翼も再現されている

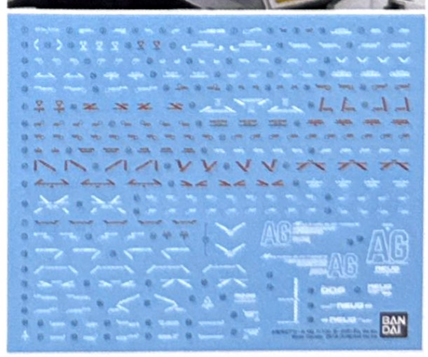


胸のブレードアンテナ、靴裏、フライング・アーマーなどにはエクストラフィニッシュを採用。金属のような質感で細部のディテールにもリアリティを付与











従来のモデルでは変形との両立が困難だった各部の可動性能が大幅に向上。胸部装甲と連動した肩周りの可動、胸部のスイング、腰のせり出しなど、劇中ポージングの再現度を高める可動ギミックが随所に盛り込まれている







WR形態で[illegible]させるべく薄めにすることで、航空機らしさを演出。また、シールド、フライング・アーマー（両側）、腰アーマーの４ヵ所からランディング・ギアが展開。WR形態でも接地ディスプレイができる

WR形態展示用ジョイントパーツで、アクションベースを使用したディスプレイにも対応



グレネード・パックパーツが付属。装着時、スライド機構によりカバーが展開。グレネード弾が露出する











シールド、ビーム・ライフル、グレネード・パック、ビーム・サーベルのほか、カミーユ・ビダンのフィギュア（立ち・着座）が付属する

MG MASTER GRADE Ver.Ka

1/100 scale MASTER GRADE
DOCUMENTARY "Ver.Ka"
20th ANNIVERSARY / SINCE 2002
BANDAI SPIRITS HOBBY DIVISION / HOBBY JAPAN

連載第1回

MG Ver.Ka20周年記念企画ドキュメンタリー"Ver.Ka"

今年の6月に「HOBBY NEXT PHASE」にて新商品が企画進行中であることが発表された、デザイナー・カトキハジメ氏がプロデュースするマスターグレードブランド"MG Ver.Ka"。本シリーズが今年で20周年を迎えることを記念して、今月と来月の2回にわたり20年の軌跡を辿りながら、シリーズの魅力と特徴を探っていく。

【MG Ver.Kaアイテムリスト】

青字がカトキ氏デザインのMS、赤字がそうでないMS(黒字は拡張セットなどの商品)。バリエーション展開も考慮すると、カトキデザインMSに偏っているわけではなく、Ver.Kaが初立体化の商品もあれば、主役級の人気MSなどさまざま。シリーズの特徴は以下が挙げられる
◎開発では毎回、何らかの新しいトライアルが行われている。
◎カトキ氏の監修は、プラスチックの成型色やマーキングデカールのデザインにまで及ぶ。
◎商品写真、パッケージイラスト、組立説明書もカトキ氏のディレクションで制作される。

発売月	商品名
2002年12月	MG 1/100 RX-78-2 ガンダム Ver.Ka
2004年3月	MG 1/100 ウイングガンダム Ver.Ka
2004年12月	MG 1/100 ボール Ver.Ka
2006年9月	MG 1/100 クロスボーンガンダムX1 Ver.Ka
2007年12月	MG 1/100 ユニコーンガンダム Ver.Ka
2008年12月	MG 1/100 シナンジュ Ver.Ka
2009年12月	MG 1/100 ヴィクトリーガンダム Ver.Ka
2010年7月	MG 1/100 Vダッシュガンダム Ver.Ka
2010年7月	MG 1/100 コア・ブースター Ver.Ka
2011年12月	MG 1/100 フルアーマーユニコーンガンダム Ver.Ka
2012年12月	MG 1/100 νガンダム Ver.Ka
2013年2月	MG 1/100 シナンジュ・スタイン Ver.Ka
2013年6月	MG 1/100 クロスボーンガンダムX2 Ver.Ka
2013年12月	MG 1/100 サザビー Ver.Ka
2013年12月	MG 1/100 クロスボーンガンダムX3 Ver.Ka
2014年8月	MG 1/100 Hi-νガンダム Ver.Ka
2014年9月	MG Hi-νガンダム Ver.Ka用 HWS拡張セット
2015年12月	MG 1/100 V2ガンダム Ver.Ka
2016年1月	V2ガンダム Ver.Ka用 拡張エフェクトユニット"光の翼"
2016年7月	MG 1/100 フルアーマー・ガンダム Ver.Ka (GUNDAM THUNDERBOLT版)
2016年12月	MG 1/100 高機動型ザク"サイコ・ザク" Ver.Ka (GUNDAM THUNDERBOLT版)
2016年12月	MG 1/100 νガンダム HWS Ver.Ka
2016年12月	MG νガンダム Ver.Ka用 HWS拡張セット
2017年6月	MG 1/100 クロスボーン・ガンダムX2改 Ver.Ka
2017年9月	MG 1/100 ダブルゼータガンダム Ver.Ka
2017年12月	MG 1/100 ダブルゼータガンダム Ver.Ka用 強化型拡張パーツ
2017年12月	MG 1/100 強化型ダブルゼータガンダム Ver.Ka
2018年3月	MG 1/100 ユニコーンガンダム2号機 バンシィ Ver.Ka
2018年12月	MG 1/100 V2アサルトバスターガンダム Ver.Ka
2018年12月	MG 1/100 V2ガンダム Ver.Ka用 アサルトバスター拡張パーツ
2019年8月	MG 1/100 クロスボーン・ガンダムX0 Ver.Ka
2020年2月	MG 1/100 FAZZ Ver.Ka
2020年9月	MGEX 1/100 ユニコーンガンダム Ver.Ka
2020年11月	MG 1/100 ウイングガンダムゼロEW Ver.Ka
2021年5月	MG 1/100 クロスボーン・ガンダムX1(パッチワーク) Ver.Ka

(2022年8月現在)







MG 1/100 RX-78-2 ガンダムVer.Ka

2002年12月

リアル志向の模型ファンの要望に応えたシリーズ第1作

シリーズ第1作。アニメ設定から大幅なディテールが加えられている。1990年にガンダム10周年を記念してHGシリーズが立ち上げられ、解説書用にカトキ氏が描き起こしたイラストが本作のベースとなった。HGシリーズではリアル志向の模型ファンの要望に応えようと、大河原邦男氏が新しくデザイン画を手がけ、カトキ氏は大河原氏のデザイン画を元にイラスト数点を仕上げている。この経験を元に、"機体の内部に関節や装置があることを感じさせるRX-78-2ガンダムとは?"というテーマに取り組み生まれたのが、本キットのデザインだった

【パッケージデザイン】



Ver.Kaのパッケージは通常のMGとは別デザインで、白地に英字ロゴが入る。カトキ氏が手がけるCGイラストは"素立ち"で、腰のひねりや腕の角度など何度も調整され仕上げられている。背景には別形態や別アングルのイラストが入る場合もある

本誌作例で振り返るVer.Ka

RX-78-2 ガンダム Ver.Ka作例
本誌2003年2月号掲載



製作:伊世谷大士/作例では、『ガンダム・センチネル0079』でカトキ氏が描いたオリジナル画稿の再現を目指した

MG ウイングガンダム Ver.Ka作例
本誌2004年4月号掲載



製作:小熊しもん/キットを活かしつつ、肩軸の調整と、青を青紫に寄せて調整。初期〜中期のイラストをイメージして仕上げている

MG ユニコーンガンダム Ver.Ka作例
本誌2008年2月号掲載



製作:野田啓之/ユニコーンモードに限定して製作。サイコフレームをあえて黒く塗装。可動式装甲を固定し、純白の機体を再現した

MG ヴィクトリーガンダム Ver.Ka作例
本誌2010年2月号掲載



製作:田仲正樹/丹念な仕上げでキットの良さを引き出している。旧キットのダッシュパーツを加工してVダッシュガンダムも再現

MG 1/100　2004年3月

ウイングガンダムVer.Ka



ラウンドシェイプで構成されたラインと8頭身プロポーション

『新機動戦記ガンダムW Endless Waltz』のMSV的展開をめざし、ウイングガンダムゼロ（EW版）からさかのぼる形でデザインされた機体。複雑な面構成の翼とポップなカラーリングが新鮮であった。全体がラウンドシェイプで構成され、スマートなデザインとなった。ガンプラで8頭身プロポーションを再現したのはこのキットが初だろう

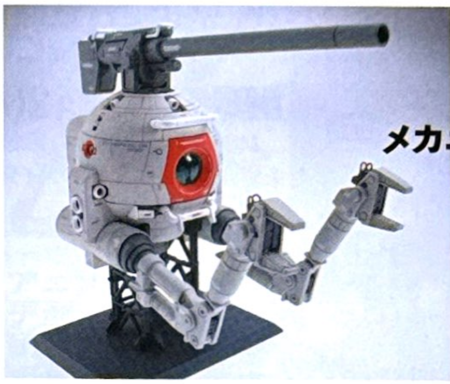
【パッケージデザイン】



MG 1/100　2004年12月

ボールVer.Ka

MG初の三重構造を実現した、メカニカルな魅力が詰まった量産機



OVA『機動戦士ガンダム0083 STARDUST MEMORY』に登場したRB-79C改修型をベースに、ディテール、オリジナルマーキングが追加された。内部フレームは芯となるコアフレーム、その上に被せるトラスフレームの二重構造になっており、これに外装が加わることで、MG初の三重構造を実現している。アームの一部には金属シャフト、コードが使用されている

【パッケージデザイン】



MG 1/100　2006年9月

クロスボーンガンダムX1 Ver.Ka



漫画原作の15m級MSを多彩な素材を駆使して再現

富野由悠季氏原作による漫画『機動戦士クロスボーン・ガンダム』（KADOKAWA刊）に登場。小型化された機体には合体・変形ギミックを内蔵し、マントの素材には不織布を使用。まだ店頭販売が主流だった時代に、映像化されていないMSをキット化するのはVer.Kaらしいチャレンジと言えた。漫画の人気を受けて、バリエーション展開も充実している

【パッケージデザイン】



MG 1/100　2007年12月

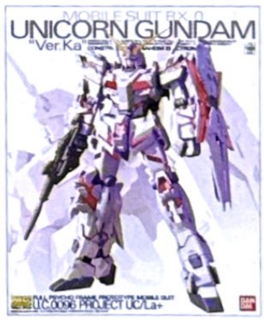
ユニコーンガンダムVer.Ka

いくつかの限界へ挑み、映像化への弾みとなった"始まりの機体"



小説『機動戦士ガンダムUC』（KADOKAWA刊）でカトキ氏は、映像化や商品化の際にはハードルとなるような、難しいデザインにあえて挑戦している。ユニコーンガンダムでは"変身"のギミック、限界まで大きくしたV字アンテナ、発光するサイコフレーム、真っ白な機体色が盛り込まれた。これらの挑戦が作品を映像化へと導く一端となった

【パッケージデザイン】



MG 1/100　2009年12月

ヴィクトリーガンダムVer.Ka

オーソドックスなデザインに、限界まで盛り込まれた変形ギミック



TV『機動戦士Vガンダム』のヴィクトリーガンダムはカトキ氏初期のデザインで、15m級の機体にコア・ブロック・システムが盛り込まれていた。放送後、久しぶりの商品化となったVer.Kaでは大胆なアレンジを行わず、ほどよいバランスでまとめられている。オーソドックスだが曲面主体のボディには、限界まで変形ギミックが詰め込まれている

【パッケージデザイン】



MG 1/100　2011年12月

フルアーマーユニコーンガンダムVer.Ka

現地改修としながら、キット化を視野に入れてデザインされた装備類



小説『ガンダムUC』の連載時、クライマックスでの決戦仕様として用意されたフル装備。ストーリー展開を考慮して、ストック品をフル活用した急造タイプとしてデザインされた。Ver.Kaオリジナル武器ハイパー・ビーム・ジャベリンや94式ベースジャバーなど、破格のオプションが商品に盛り込まれ、アニメでも活用された

【パッケージデザイン】



MG MASTER GRADE Ver.Ka

1/100 scale MASTER GRADE
DOCUMENTARY "Ver.Ka" 20th ANNIVERSARY / SINCE 2002

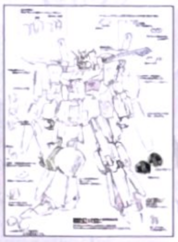
BANDAI SPIRITS HOBBY DIVISION / HOBBY JAPAN

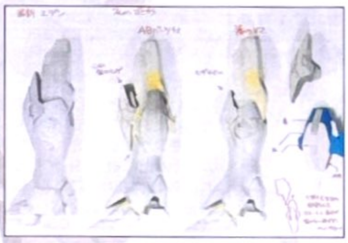
連載 第2回

MG Ver.Ka20周年記念企画ドキュメンタリー"Ver.Ka"

MG Ver.Ka20周年を記念した連載第2回では、監修作業やマーキングデザイン、香港で開催された個展を紹介しながら、後半のアイテムから編集部セレクト6機をピックアップ!

【監修作業】





初期に描かれたZZガンダム Ver.Kaの開発画稿。本キットの開発でポイントとなるトライアルが書き込まれている。胸部周りのラインや、肩のパーティングラインの位置、内部メカのグレーパーツを入れる箇所などさまざまな提案がされている

ガンプラではCADによる設計が主流となっているが、曲面主体のパーツを設定画稿やイラストだけを頼りに立体化するのは難しい。ラウンドフォルムのV2ガンダムではカトキ氏が直接、試作品にパテを盛って削り、微妙な曲面のニュアンスを開発陣に伝えていた。また、この時点ですでにアサルトバスターパーツを装着する検証も行われていた

【マーキングデザイン】

カトキ氏がデザインするVer.Kaオリジナルマーキングもシリーズの魅力のひとつ。MG Hi-νガンダム Ver.Ka用HWS拡張セットには、迷彩パターンのシールド用マーキングが付属。迷彩を塗装で表現するのは初心者にはハードルが高いため、キットでは水転写デカールで再現している。開発では出渕裕氏が描いたモノクロイラストを元に、迷彩のパターンや色をいくつか提案し、試作品では濃度の異なる3種類の塗装サンプルが用意され、最適な迷彩パターンのデカールを開発していった



カトキ氏による迷彩パターン案



迷彩パターンの塗装サンプル3種



水転写式デカール

【成型色】

Ver.Kaでは、開発陣と相談しながらカトキ氏がカラーレシピを作成、それを元に完成品見本が制作され、撮影にも使用される。この完成品見本を参考に成型色が最終決定される。ハードディテールのサザビーVer.Kaの装甲は、赤だけでも3色で表現されていた



完成品見本



カラーチップ



テストショット

【組み立て説明書】

組み立て説明書には、カトキ氏のインタビューや設定イラスト、商品紹介などが収録されている。設定イラストは描き下ろしで、表紙も毎回、カトキ氏が構図を決め、エフェクトなどもカトキ氏が仕上げている





【2015年、香港でKATOKI HAJIME EXHIBITION Ver.Ka Archives開催】







香港で2015年に開催された「GUNDAM docks at Hong Kong II」では、カトキ氏の個展が開かれた。海外で初となったこの個展ではVer.Kaの歴代アイテムをパッケージイラストとともに展示。また会場限定「MG 1/100 RX-0 UNICORN GUNDAM "Ver.Ka" [CODE_852]」も販売された(現在販売終了)

本誌作例で振り返るVer.Ka

MG νガンダム Ver.Ka作例
本誌2013年2月号掲載



作例：田仲正樹／作例では各部を丁寧に作り込み、隙をなくす細部ディテールアップを紹介していた

MG ダブルゼータガンダム Ver.Ka作例
本誌2017年11月号掲載



作例：仲井望／レビューではキットの素性をレポートしながら、カラーリングを商品画像よりもアンダー気味の配色で仕上げている

MGEX ユニコーンガンダム Ver.Ka作例
本誌2020年11月号掲載



作例：アクシズてんちょう／1／1実物大ユニコーンガンダム立像を参考に、白い装甲はディテールを追加し光沢で仕上げ、関節はツヤ消しグレーで塗装している

MG ウイングガンダムゼロ EW Ver.Ka作例
本誌2021年1月号掲載



作例：哀川和彦／特徴となっているウイングバインダーを優雅に見せるため、すべての小羽根をシャープになるよう削り込んでいる

MG 1/100

2012年12月

νガンダム Ver.Ka

定番人気のMSを大胆に造り込むことにチャレンジ



10年目の節目に商品化されたνガンダムVer.Kaは、「ガンダムフロント東京」で上映されたCGムービーと連動したデザインになっていた。ハードディテールの装甲がスライド、もしくはパージすることで内部のサイコフレームが露出する〈発動モード〉がデザインに盛り込まれ、キットでも再現されている



【パッケージデザイン】

MG 1/100

2016年12月

高機動型ザク"サイコ・ザク" Ver.Ka(GUNDAM THUNDERBOLT版)



【パッケージデザイン】



アニメ版デザインをVer.Ka最大のボリュームで立体化

太田垣康男氏による漫画『機動戦士ガンダム サンダーボルト』のアニメ制作にカトキ氏も参加し、アニメスタッフの意見を取り入れながらサイコ・ザクのデザインをまとめていった。本キットもアニメ版デザインをベースに開発され、ビーム・バズーカと大型ロケットブースターを装備した姿はVer.Ka最大のボリュームとなった

MG 1/100

2017年9月

ダブルゼータガンダム Ver.Ka

対極の解釈を盛り込みながら変形と可動の両立にも挑む



ZZガンダムは小林誠氏が描いたどっしりとしたオリジナルデザインと、明貴美加氏がデザインしたスマートな強化型ないしフルアーマー、ふたつの解釈が存在するMSであった。Ver.Kaは、ノーマルの状態ではTV前半のイメージを追いながら、変形と合体、可動の両立にも挑戦している。強化型、FAZZを視野に入れた機構になっているのもポイント



【パッケージデザイン】

MG 1/100

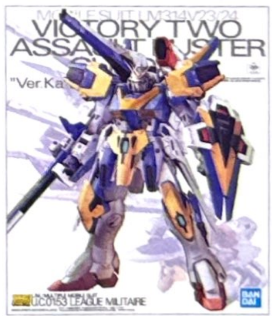
2018年12月 プレミアムバンダイ販売アイテム

V2アサルトバスターガンダム Ver.Ka



スタイルを損なわずふたつの装備を同時に装着

強襲型と中・長距離戦型装備を同時に装着した〈アサルトバスター装備〉は、〈光の翼〉とともにV2ガンダムの最終決戦仕様といえた。Ver.Kaでは変形・合体するV2ガンダムにふたつの装備を装着するギミックを盛り込み、しかもスタイルは損なわない。加えて密度感のあるディテールをプラスさせることにチャレンジしていた



【パッケージデザイン】

MGEX 1/100

2020年9月

ユニコーンガンダム Ver.Ka

アニメで登場するギミックを網羅した MGEX第1弾



【パッケージデザイン】



MGEX第1弾となった本作では、映像で描かれたユニコーンガンダムのギミックが盛り込まれていた。サイコフレームの発光が変化する演出、プロポーション、変身ギミックの共立は高難度の挑戦となった。これを可能にしたのがフレキシブルLEDシートで、フレーム内に組み込むことで、可動を犠牲にすることなく発光させることができた

MG 1/100

2020年11月

ウイングガンダムゼロEW Ver.Ka



【パッケージデザイン】



MGで2度目の立体化となったVer.Kaでは、細身のモデル体型で可動を追求するトライアルが行われた。脚の長いデザインに、ヒザを深く曲げるための関節機構を取り入れ、両手撃ちを可能にする関節ギミックなども盛り込まれた。ネオバード形態への変形、折り畳みギミック付きのツインバスターライフルといった設定のアップデートにも対応していた

モデル体型のボディで、可動ギミックを追求していく

Z ゼータ Ver.Ka 20年の鼓動を刻み出現



BANDAI SPIRITS
1/100 scale plastic kit
"Master Grade"
MSZ-006
ZETA GUNDAM
Ver.Ka

MG MASTER GRADE Ver.Ka

MG ゼータガンダム Ver.Ka
●発売元／BANDAI SPIRITS ホビーディビジョン クリエイション部●7150円、2023年2月予定●1/100、約18cm●プラキット

MOBILE SUIT MSZ-006
ZETA GUNDAM "Ver.Ka" DOCUMENTARY
BANDAI SPIRITS HOBBY DIVISION / HOBBY JAPAN

連載第3回

ドキュメンタリー"ゼータガンダム Ver.Ka"

Ver.Ka20周年の新たなる挑戦として誕生したゼータガンダムVer.Ka。今月はテストショットを編集部で撮り下ろし。さらに開発者コメントを交えながら、いかにして本キットが形作られたのかに迫っていく。

MESSAGE：BANDAI SPIRITS ホビーディビジョン開発担当

まずはカトキハジメ氏と「アニメ版意識のゼータガンダムで行こう」という話になりました。

すでに過去のMG Ver.1.0がカトキさんアレンジ寄りでしたし、いま改めて当初のアニメ設定画を見直すと、当時の技術的な都合で立体化出来なかった部分が多々あることに気づきます。

ただその立体制約の中でゼータプラス、という合理的かつ最適解的な変形をするゼータ派生機が生まれました。あの変形やプロポーションは本当に素晴らしく、現代までのゼータ立体物に大きな影響を与えています。これは間違いなく、ゼータのひとつの正解です。

ですが今、最新のガンプラ技術を武器にして再度原点のゼータに立ち向かったら、また新しい何かが生まれるかもしれない。ゼータの姿には決められた正解がないからこそ面白いと、カトキ氏のインタビューにもあります。そんな挑戦の思いをこめて、「20周年での新たなる挑戦」としました。

本商品は最近のガンプラトレンドのような頭が小さくて、ハイディテールでスタイリッシュ……そのような造形とは少し毛色を変えています。最新フォーマットで遊びやすくて最高にカッコいい、けれどどこか懐かしいあの頃憧れたゼータ。そんな商品になればと思っています。

MS形態



■リアビュー

可変MSとなる本機の専用装備フライング・アーマーとロングテール・スタビライザー。ゼータガンダム歴代キットと比べてエッジの立った造形で、メカデザインを手がけた藤田一己氏のシャープな描線が再現されている。エクストラフィニッシュのパーツも含め、各部にある黄色やグレーのディテールも別パーツ化されており、成型色で再現されている



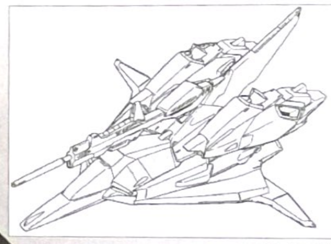
■フロントビュー

アニメスタイルを尊重した造形に、RGやMG Ver.2.0のゼータガンダムを見慣れた世代は、むしろ違和感を感じるかも知れない。これまでのゼータ系キットは水平気味の胸部だったが、Ver.Kaではよりアニメ設定画のデザインに近い、下方向へ倒れたフォルムになっている。脚部のラインも、丸みのあるMG Ver.1.0やゼータプラスとは異なる〈鋭利さ〉を感じさせる

MOBILE SUIT MSZ-006
ZETA GUNDAM "Ver.Ka" DOCUMENTARY
BANDAI SPIRITS HOBBY DIVISION / HOBBY JAPAN



ウェイブ・ライダー形態



アニメ用設定画稿

■フロントビュー

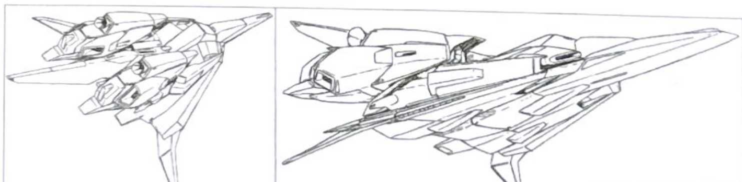
設定画稿に近いアングルで撮影すると、その再現度の高さがわかる。脚部は2段階で折り畳まれることでコンパクトになり、フライング・アーマーは形状を大きく変えることなく翼面積が拡張されている。変形後は各部のロック機構で固定され、飛行機モデルのようにディスプレイが楽しめる

■サイドビュー

サイドビューはクサビ形のシルエットを形成。腕部をフライング・アーマーに逃がすことで上下の厚みが抑えられている。ランディング・ギアはフライング・アーマー、シールド、股間の4ヵ所から展開







アニメ用設定画稿

■リアビュー

人型のシルエットが消えて、戦闘機のフォルムへと変形。機首(シールド)からフライング・アーマー、小翼へと流れるラインが美しい。靴裏のディテールも、別パーツ化により成型色で再現されている

挑戦と進化を続ける〈初の変形するガンダム〉

1985



1/100

1996



MG Ver.1.0

2000



PG 1/60

2005



MG Ver.2.0

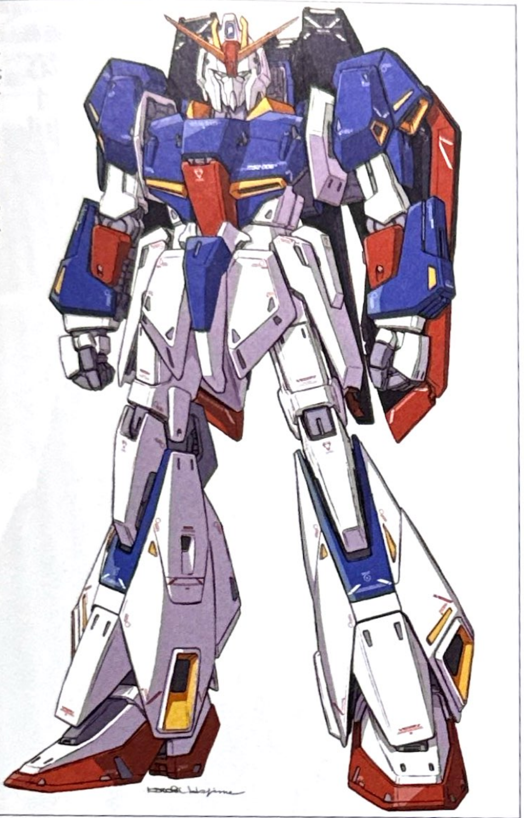
2012



RG 1/144

放送当時の1/100スケールですでにウェイブ・ライダー形態への変形にチャレンジしていて、MG Ver.1.0ではカトキ氏がMGの開発に初めて参加。変形ギミックも含めてMG用の開発画稿を提供し変形とプロポーションの両立を目指した。PGでは両形態での関節強度の安定が図られ、装甲の脱着、メンテナンスハッチの開閉など大型キットならではの充実度となった。MG Ver.2.0では劇場3部作公開のタイミングもあり、従来キットの変形ギミックを進化させながら劇中のプロポーションを再現させていた。RGでは1/144スケールでの変形を実現させるため、新規のアドヴァンスドMSジョイントを採用。RG独自の実機考証により変形機構をリアルに再現しようと努めていた。ゼータガンダムVer.Kaはこれまでのゼータ系キットの技術を結集させたキットといえるだろう

無数に存在するデザインと変形の〈解〉



カトキ氏によるカラーイラスト

CONCEPT

POINT. 01 アニメオリジナルの追求
POINT. 02 “可動”と“固定”が紡ぐ史上最高峰の変形
POINT. 03 Ver.Ka20周年 ギミックとメカ表現の進化

今回のコンセプトのひとつに「アニメオリジナルの追求」が掲げられている。カトキ氏によるカラーの開発画稿を確認すると、アニメ設定画から多くのニュアンスが拾われデザインに反映されているのがわかるだろう。また、Ver.Kaでの開発ではミーティングだけでなく、資料を使ってカトキ氏とスタッフとの間で何度もやりとりが行われる。ここでは開発初期にやりとりされた開発準備稿の一部を紹介しよう

〈開発画稿メモより〉

❶三角のプレート
左右インテーク下にある三角のプレートについて、単純なヒンジだとウェイブ・ライダー形態時に突出量が少ないので、せり出すギミックが提案されている

❷脚部（1）
ヒザアーマーと脚部内側の側面形状について、テーパーの強さを出す（先細りになる）メモが書かれている

❸脚部（2）
ヒザアーマー周囲の青い部分はこれまで並行している解釈だったが、今回はテーパーを付ける指示がされている

❹シールド
シールドの輪郭を決めるのはフライング・アーマーとのすりあわせになるため、早めにシールドの輪郭がMAXでどれくらいになるかを一度出してもらい、様子を見たいとオファーが出されていた

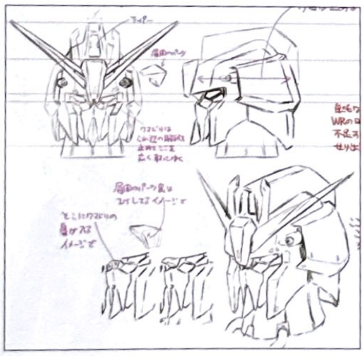
❺フロントアーマー
フロントアーマー下面の形状について、こちらもテーパーを設ける指示が書き込まれている

❻かかと
かかとの赤い部分について、厚さを抑えたいと指示が書き込まれている



■頭部

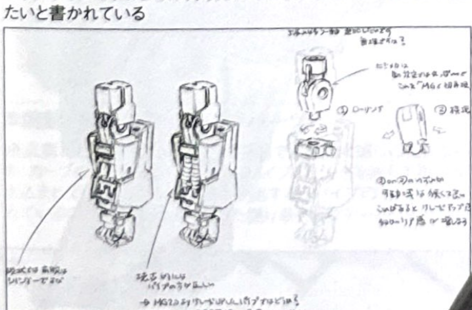
頭部について、前後に伸ばすアレンジを今回はやめてアニメのデザインに合わせたている。カメラアイ周囲の隈取りについても、これまでの解釈をやめて、広くとっている。頭頂部センサー、眉間パーツの形状についても細かい指示が書き込まれている



開発準備稿

■前腕部／腕関節

MG Ver.1.0やPGでは前腕の内側がシリンダー構造になっていたが、アニメのデザインに合わせるならパイプが正しい。Ver.2.0やRGではパイプの造形になっており、Ver.Kaではより設定に合わせた表現が提案されている。ヒジ関節についてはもう1軸追加したいと提案。形状は設定では丸みのあるデザインで、MGでは再現されてこなかったためVer.Kaで初めて再現したいと書かれている



■試作原型

試作原型に対してのカトキ氏による監修。頭部を96%縮小し、V字アンテナを2mm長くする指示が。胸部についてはまっすぐな面にし、胸板の厚みを抑える。インテーク下の三角のプレートは下へ向ける指示が書かれている。前腕部については4mm縮める指示。脚部については、スネのラインの折れ、スネアーマーの伸張、スラスター部の角度など細かい指示がされている



MASTER GRADE
Ver.Ka

MOBILE SUIT MSZ-006
ZETA GUNDAM "Ver.Ka" DOCUMENTARY
BANDAI SPIRITS HOBBY DIVISION / HOBBY JAPAN

連載第4回

ドキュメンタリー"ゼータガンダム Ver.Ka"

Ver.Ka20周年記念キットの開発を追った連載第４回では、設計担当のコメントを交えながら、アニメ設定に準拠したフォルムと変形について迫っていく。ランナー状態やこだわりの変形シークエンスも撮り下ろしで紹介しよう！

MG ゼータガンダム Ver.Ka
●発売元／BANDAI SPIRITS ホビーディビジョン クリエイション部●7150円、2023年2月予定●1/100、約18cm●プラキット

アニメオリジナルを追求したフォルム

MESSAGE[1]: BANDAI SPIRITSホビーディビジョン設計担当

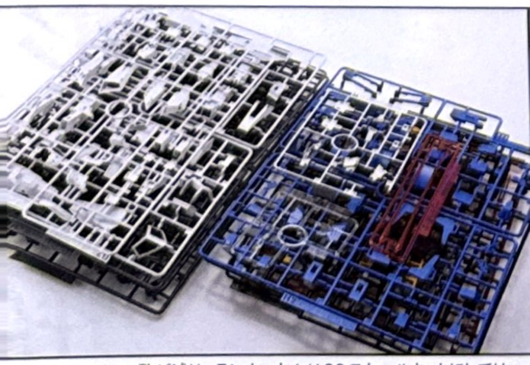
MS/WR形態が当時の「アニメオリジナルを追求したフォルム」になるように、そこから逆算して変形ギミックを詰めることを重要視しました。また、もうひとつの大事な要素として「アニメ設定に近い変形シークエンスを、なるべくシンプルな変形方法（変形ギミック）で再現したい」とのミッションを企画担当より貰ったため、その両立を目指すように心がけたつもりです。それに加えて「変形の関係で可動域が犠牲にならない構造」や「変形保持のためのロック機構の導入」も取り入れ、設計しました。

「アニメオリジナルを追求したフォルム」で言いますと、例えば太モモとスネの位置関係はWR時には太モモの上部とスネの上部がほぼ同じ位置にあるのですが、なかなかこの再現を今まで追いきれていなかったため、ヒザの３軸可動と連動構造を掛け合わせて、その設定再現をしています。また、MS形態のアニメ画稿をしっかりと追いかけていく過程でカトキさんから「アニメ画稿はMS時の腕がガッチリとしていて拳も太くたくましい、でもフライング・アーマーはとてもコンパクトな印象」（1/100の本体に1/144サイズのフライング・アーマーをつけてもいいくらい）、というお話を頂いたので、太くたくましい腕を1/144サイズほどのフライング・アーマーに収納する上で、どのような変形ギミックで落とし込みフォルムと両立させるか、とても悩みながら設計を進めていきました。私の場合はこのような設計検証をする際は、CAD上で両形態に可変する計算式を作成し、何度もモデル上で変形させて残されたスペースを探して、そこにしまっていくというスタイルで検証しておりますが、それでも腕が収まらず悩んで模索していた際、当時のデザイナー様が描いた変形工程に「前腕を縮める」という記述を見つけ、アニメ放映時の画稿や記述をオマージュする今回のテーマに即していたため、新たに導入することにいたしました。その後、細かい変形干渉部分も何度も計算し拳を90度曲げるなどして何とかフライング・アーマーの中に収めることができましたので、この点は変形ギミックとしてかなり重要視した部分かと考えております。この他にもWRがなるべく薄く見えるように、シールドがくの字に逆折れするギミックを入れ、なるべく先端は細く見せつつ、頭と胴体を収める工夫なども取り入れてみました。WRを下から煽って見る画稿にはパースがついており、シールドをちょっとくの字に曲げたようにも見えたので、意外に違和感なくまとまったように思います。

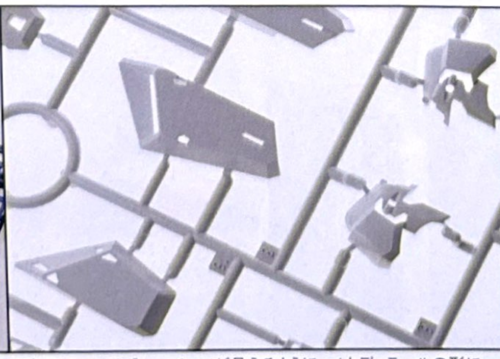


MS形態

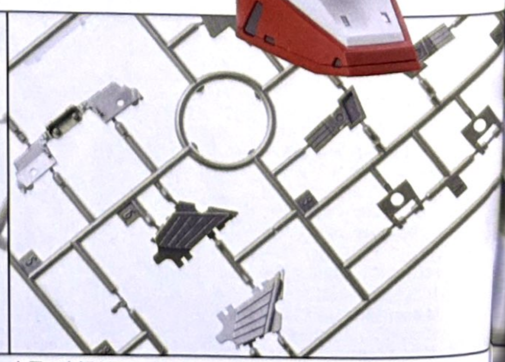
■フロントビュー
無塗装、シールを貼っていなくてもアニメ設定の色分けを最大限に再現している。シールドや脚部の△ディテールも成型色で表現されている



パーツ数が減り、ランナーも1/100スケールキットにしては数が抑えめになっている。パーツが探しやすいのも嬉しい



腰部アーマーはグレーパーツが見えるように、メカディテールの形に抜かれている。頭部もバルカン砲の銃口部が空いている

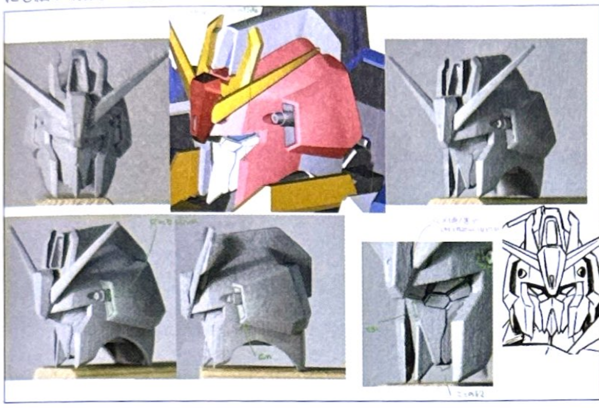


金属の光沢を再現したエクストラフィニッシュ。胸のブレードアンテナ、靴裏、フライング・アーマーなどに使われている

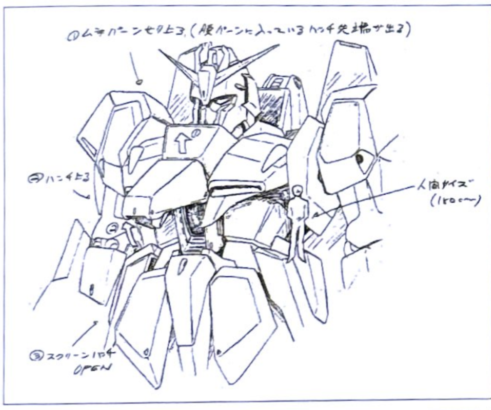
※画像は開発中の試作品です。

■頭部／ツインカメラアイ

試作品の頭部への監修。アニメ設定画稿を参考に、眉間下のマスク部分は狭く、ツインカメラアイはツリ目気味で先端は鋭くとの書き込みがあり、インテークの形状にも細かく指示が書き込まれている



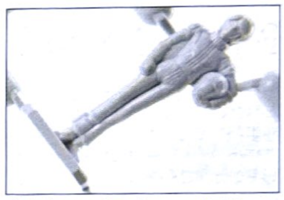




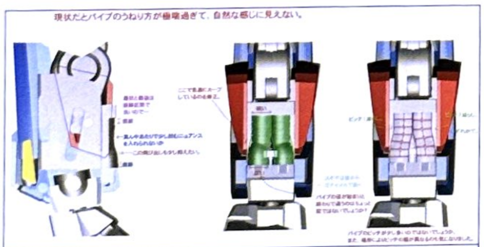


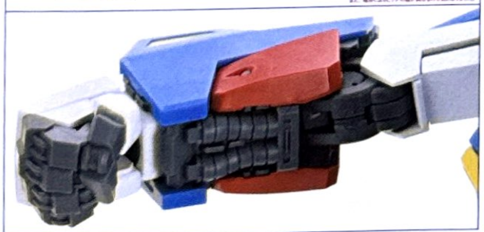
■コクピットハッチ

コクピットハッチの先端が股間ブロックと干渉しないように胸部ブロックを少し上げ、コクピットハッチを開閉する。アニメ設定に合わせた開閉方法を再現している



立ち姿でパイロットスーツのカミーユが新規造形で付属。ほかにコクピット内のカミーユも付属する





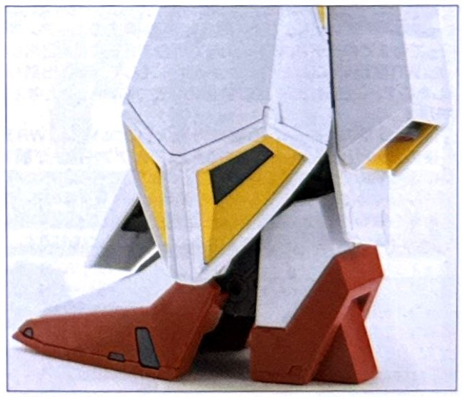
■前腕内部パイプ／ハンドパーツ

修正前だとパイプのうねり方が極端で、自然な感じに見えないため、カーブの形状を修正しながら、パイプのピッチを減らす指示が書き込まれている。テストショットを確認するとパイプのうねりが修正されているのが分かる。大きくなった握り拳のディテールにも注目



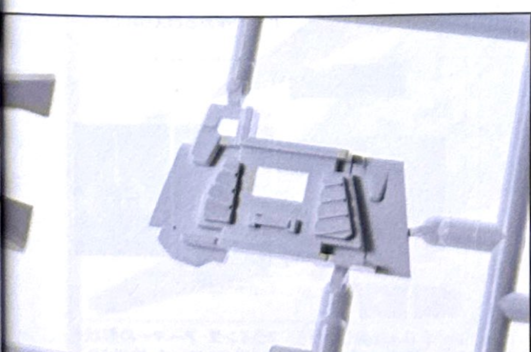
■フロントアーマー

アニメ設定に合わせてフロントアーマー下の斜面はテーパーが強くなっている。太モモ部は横回転の可動が入り、自然な立ち姿になるように角度を付けることができる

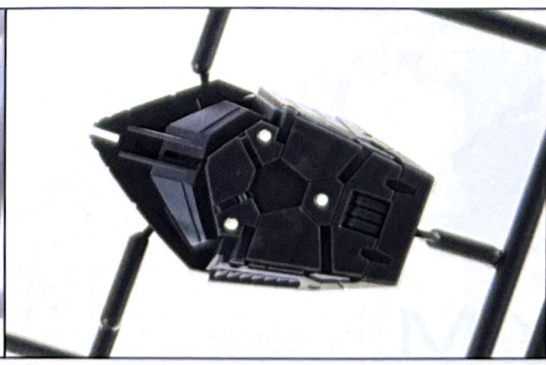


■脚部／かかと

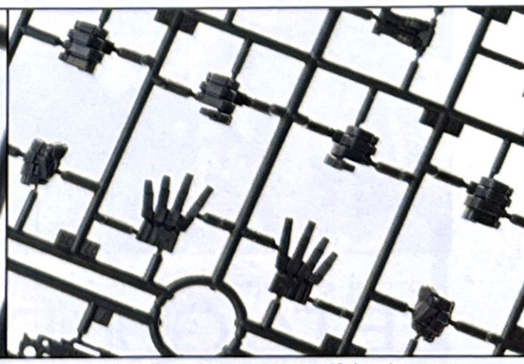
赤いかかと部分は、MG Ver.1.0や2.0と比べると厚みが抑えられた造形になっている。脚部のスラスター部分はディテールに沿ったパーツ分割になっている



脚部内のパーツ。見えなくなってしまう部分にもメカディテールが彫り込まれている。組み立てる人だけが知るこだわり



脚部スラスターの外装を外すとグレーのメカディテールが現れる。さらにディテールを足して、作り込むのもいいだろう



握り拳、武器持ち手、平手のパーツ。アニメ設定に合わせて大きめのサイズ感となり、表情豊かな造形になっている

CONCEPT

POINT.01 アニメオリジナルの追求

POINT.02 “可動”と“固定”が紡ぐ ガンプラ史上最高峰の変形

POINT.03 Ver.Ka20周年 ギミックとメカ表現の進化

MESSAGE[2]: BANDAI SPIRITSホビーディビジョン設計担当

「アニメ設定に近い変形シークエンスを、なるべくシンプルな変形方法（変形ギミック）で再現したい」という点については、わかりやすい１例をあげるとすればフライング・アーマーと胴の接続と変形方法の部分が挙げられるかと思います。設計者視点ではこの部分を考える際にはどうしてもMSでの位置、WRでの位置が決まっておりその位置に移動させるためには「多軸のアームを回して折りこんで回して…」と定石の変形パターンで再現せざるを得なかったのですが、企画担当から「過去モデルはこの部分が複雑で変形させづらい」と相談があったため、もっとシンプルに考え「“く”の字に曲がったアームを伸ばす、そのあとにフライング・アーマーごと回す、最後に上下方向にスライドさせて位置調整」と変形ギミックを再検討したところ、比較的シンプルな変形行程でまとまったのではないかと思います。合わせてアニメの変形シークエンスにも近づいたので、その点も今回のモデルのテーマに沿った形にできたかと考えています。このような変形の簡潔さの部分は当時の1/100キットをかなり意識しています。胸のサイズ感などの話もありますが、80年代の２次元図面時代にここまで洗練された可変機構を設計できていることに一設計者としてとても感銘を受けましたので、本モデルの随所にその影響が出ているように思います（※たしか説明書には記述はないですが、前腕が微妙に縮められたような気がしますので、その記憶もあり前腕を縮める着想ができたのかもしれません…）。本モデルを購入される方の中にも、もしかすると当時の1/100キットがお好きな方がいるのではという狙いもあり、設計の後半には意識してオマージュした部分もあるかと思いますので、ぜひお手にとって見つけてもらえると嬉しいです。

「変形の関係で可動域が犠牲にならない構造」については、また変形ギミックの関係で胴から腰周りの可動に制限が出てしまう、もしくは可動保持力が損なわれることがないように、太めの可動軸を内包しつつ以前設計を担当させてもらったMGダブルゼータガンダムVer.Kaで考えた多軸可動構造のニュアンスを拾って今までのモデルより多方向で可動できる設計を目指しました。WR変形時にはロックがかかるようにもして、特許出願もしましたので、こちらも本商品の特徴のひとつにできたかと考えております。

「変形保持のためのロック機構の導入」については、WR変形後のカッチリ感を少しでも高めるために、リアアーマーが胴背面に入り込んでロックする設計にしています。こちらはアニメ設定でもWR時は胴とリアアーマーの間隔が短く見えるので、設定再現も兼ねた演出にできるといった狙いもあります。この他にも各所にロックを設け、剛性が高まるよう設計したつもりです。

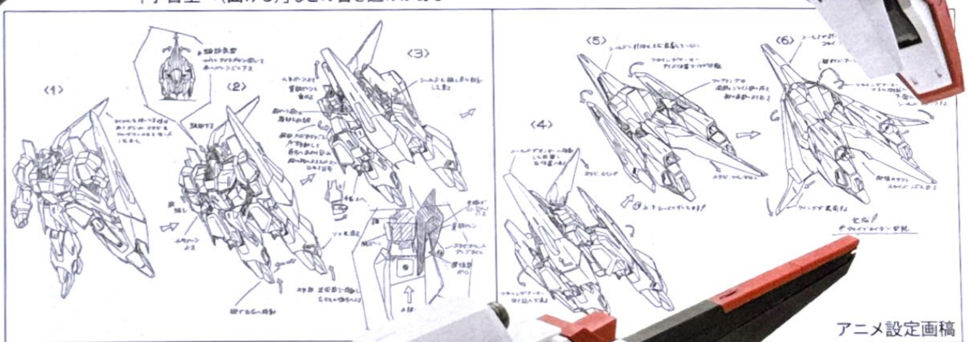


■MS形態

変形でMS形態時の可動域が制限されないように多軸構造の可動ギミックを内蔵。肩は「ハ」の字に開き、自然なポーズを取ることができる

■アニメ設定での変形

アニメ設定画稿に書き込まれた解説を読み込み、今回の変形に盛り込んでいる。設計担当のコメントにあるように、「腕が縮む」「手首上へ（曲げる）」などの書き込みがある



アニメ設定画稿



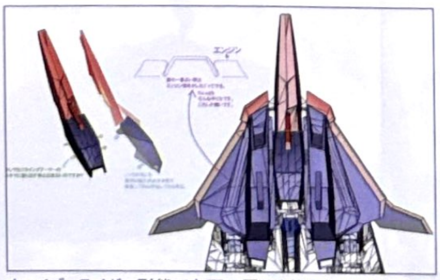
■ウェイブ・ライダー形態

ビーム・ライフルの銃身を縮め、グリップを回転させてロングテール・スタビライザーのマウントラッチに装着して完成。クサビ形のシルエットを形成し、上下の厚みも抑えられている



■各部にロック機構を搭載

ロック機構により飛行機モデルのようにディスプレイが可能。頭部を胴体に下げることで棒がナット状のパーツに深く刺さりロックがかかる。リアアーマーと腰パーツをクランク可動させて上に移動、胴体に装着させるとロックがかかる



ウェイブ・ライダー形態で上下の厚みを抑える工夫として、シールドが反るように変形する。紺の下部はフライング・アーマーとの隙間をなくすように張り出させる指示が書かれている



Ver.2.0と比較しながら、フライング・アーマーの形状をアニメ設定に近づける指示が書かれている。拡張される翼をアニメ設定画稿に近い支点で展開する形に調整。翼展開時の段差を抑え、形状の流れを整えている

MOBILE SUIT MSZ-006
ZETA GUNDAM "Ver.Ka" DOCUMENTARY
BANDAI SPIRITS HOBBY DIVISION / HOBBY JAPAN

※掲載している開発画稿は準備稿です。実際の商品とは異なります。



■V字アンテナを畳み、股間ブロックとフロントアーマーをずらして、胸部ブロックをスライドし跳ね上げる



■上げた胸部ブロックを下へスライドし、頭部と白い腹部のパーツを胴体内部へ収納する



■肩部スラスターを折り畳み、コンパクトに変形させる



■前腕内側のパーツを開き、ヒジ関節まで内部に収納し、手首を90度曲げる



■白い多角形パーツを90度曲げて腕部ブロックを前へ移動し、フライング・アーマーのアームを伸ばす



■フロント&リアアーマーのロックを解除し、股関節のジョイントを展開する



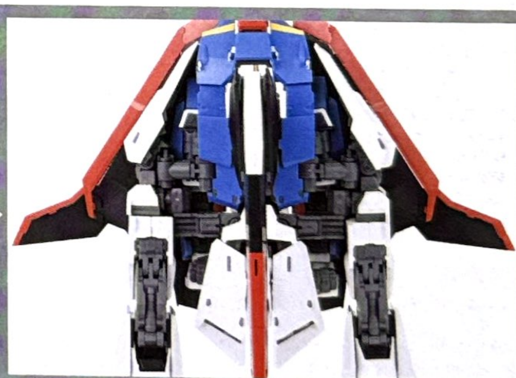
■フロントアーマーを内部へ折り畳み、太モモ部を90度回転させる



■フライング・アーマーを180度回転させ、アームをスライドさせる



■フライング・アーマーをスライド、小翼を回転させて展開する。腕部をフライング・アーマー内部に収納する



■股関節のフレームをウェイブ・ライダー時の定位置へ移動させ、リアアーマーのロック機構で固定し、サイドアーマーを回転させてロックする



■ヒザ関節を90度曲げ、ヒザから下のブロックを90度曲げ、ふくらはぎのスラスター部分を引き上げ、前後のパーツを引き出す



■ふくらはぎのスラスター部分を元の位置に戻し、ヒザ関節のロックを前に向かって折り畳み、つま先を閉じる

こだわりの変形シークエンス



■シールドを「く」の字に曲げ、本体底部に取り付け、ロングテール・スタビライザーを後ろへ展開し、背中の外装をスライドさせる

時流を越えた色彩



MESSAGE: BANDAI SPIRITS ホビーディビジョン設計担当

成型色に関しては、締め切りぎりぎりまでパターン検討をカトキさんと繰り返していました。全部のカラーパターンを合わせたら20色を超えているかもしれません（笑）。通例、色の検討は金型が出来上がってきてからが本番なのですが、幸運なことにゼータガンダムは過去商品の金型がありましたので、原型を造形しながら並行で検討も進められました。特に検討を重ねたのは青色です。ゼータガンダムの青はその時流によってMG Ver.1.0のような濃い紺色だったり、HGUCのような水色だったり、解釈が異なっています。今回使用した青は「少しだけ緑色・シアン系」に寄せています。これは画稿の色味はもちろんですが、旧キットからのオマージュです。キットのシルエットだけでなく色からも、アニメ放映時を感じる、あの頃欲しかったゼータを目指しました。



■ゼータガンダムのカラーリング

TV『機動戦士Zガンダム』放映初期に発売された「模型情報」の表紙に準備稿のカラーリングでゼータガンダムが描かれていた。準備稿では腕の青が白で塗られており、RX-78-2ガンダムの配色に近かった



アニメでのカラー決定稿。白、青、赤、黄色のガンダムのイメージを受け継ぎながら、フライング・アーマーは黒が配色されている。RX-78-2ガンダムはスカイブルー、ガンダムMk-IIは紺、ゼータガンダムは中間の青といったイメージ



劇場版『機動戦士Zガンダム』ではオリジナルのフィルムと、新作画が混在するため、新作画では彩色後、オリジナルになじむようなエイジング処理がされていた

MG MASTER GRADE
Ver.Ka

MOBILE SUIT MSZ-006
ZETA GUNDAM "Ver.Ka" DOCUMENTARY
BANDAI SPIRITS HOBBY DIVISION / HOBBY JAPAN

連載 第5回

ドキュメンタリー"ゼータガンダム Ver.Ka"

今月は成型色について開発担当者からのコメントを紹介しながら、本キットに継承されている可動ギミックやディテール、デザインについて紹介しよう!

MG ゼータガンダム Ver.Ka
●発売元／BANDAI SPIRITS ホビーディビジョン クリエイション部●7150円、2023年2月予定●1/100、約18cm●プラキット

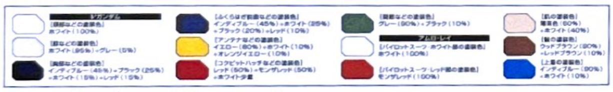
■歴代キットと〈青〉の成型色を比較

放映当時のアイテム3点は、緑が強めに入ったシアン系の青で成型されていた。アニメ設定の青よりも明るい色味の印象であった。MG Ver.1.0は紺に近い青で、Ver.2.0、HGUC、RGは1.0より明るく群青色に近い色味であった。MG Ver.Kaでは近年のアイテムと同じ明度を保ちつつ、少しシアンに寄せた青を選択している



■MG Ver.Kaの塗装カラーガイド

ガンプラの組立説明書には、塗装のカラーガイドが記載されている。MG Ver.Kaでは本体、武装類、フィギュアに至るまでカトキ氏が色彩設計を担当している。完成品の塗装仕上げを担当する松本隆氏とカトキ氏が何度もやりとりをしながら調色を行い、配色のバランスを試しながら、製作している。成型色も完成品を参考に調整が行われ、カラーガイドもカトキ氏から提供されるレシピがベースとなっている



MG νガンダムのカラーレシピ

未塗装状態のテストショット。ツインカメラアイやセンサー類以外はシール、デカールは貼られていない。グレーや黄色のディテールまで成型色で再現されている

■サイドビュー　■リアビュー　■フロントビュー



CONCEPT
POINT. 01 アニメオリジナルの追求
POINT. 02 "可動"と"固定"が紡ぐガンプラ史上最高峰の変形

POINT. 03

Ver.Ka 20周年ギミックとメカ表現の進化



多層かつ多彩なメカ表現

過去Ver.Kaアイテムからのフィードバック

■多層構造

MGシリーズは内部フレームを持つキットであるが、ボールVer.Kaでは3重構造を再現し、サザビーVer.Kaの内部メカディテールは、グレーとシルバーの成型色で多層構造を再現していた



MGボールVer.Ka

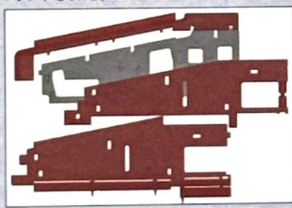


MGサザビーVer.Ka

■メカ色をサンドして多彩に表現

ダブルゼータガンダムの翼（シールド）は航空機の構造を意識したデザインで、赤い外装はスリットやディテールの形状で抜かれ、中にサンドされたグレーのパーツが見える

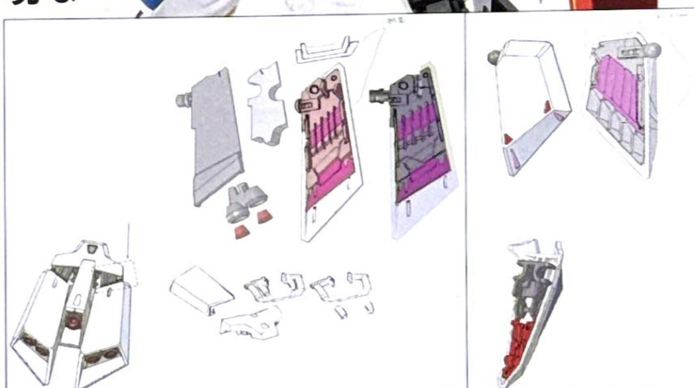




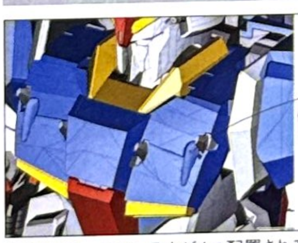
MGダブルゼータガンダムVer.Ka

■エクストラフィニッシュによる金属表現

サザビーVer.Kaではシルバーのフレームにウェルドラインを抑える素材を採用していたが、ダブルゼータガンダムVer.Kaでは、エクストラフィニッシュをパーツの一部に採用。粒子が粗いため光の反射がメッキより抑えられ、落ち着いた感じの金属表現が得られた

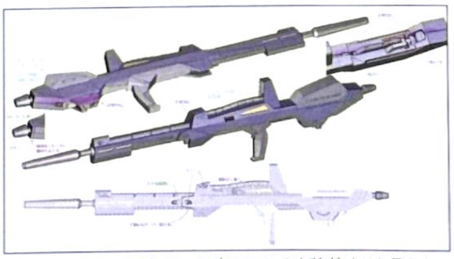


各スカートの裏側はディテールが彫られたパーツで裏打ちされている。開発画稿ではディテール案がカトキ氏により提案されている。フロントアーマーは白の外装、グレー、エクストラフィニッシュのパーツによる3層構造になっている

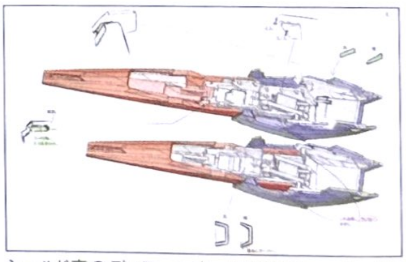




胸部はブレードアンテナが4つ配置されるほかに、楕円形ディテールが追加されている。ブレードアンテナはエクストラフィニッシュの加工処理がされている



ビーム・ライフルのディテール案。Eパックを装着すると見えなくなる部分にもディテールの指示が描き込まれている



シールド裏のディテール案。内部のグレーパーツにテーパーを付ける指示のほか、台形の凹ディテールを追加している。断面の形状にも修正が加えられている

■ブレードアンテナを配置して開発上の系譜を感じさせる

MG Ver.Kaではνガンダムで初めて胸部にブレードアンテナが配置され、以降はアナハイム・エレクトロニクス製ガンダムには共通で入れられている。ダブルゼータガンダムVer.Kaと今回のゼータガンダムVer.Kaはエクストラフィニッシュになっている



MGダブルゼータガンダムVer.Ka



MGEXユニコーンガンダムVer.Ka



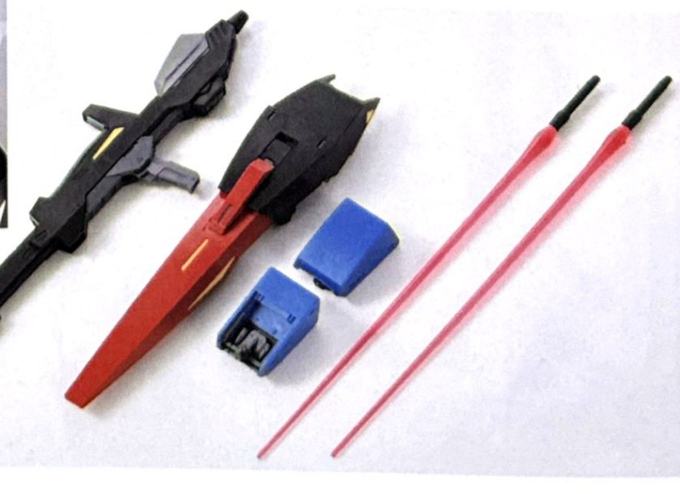
MG νガンダムVer.Ka



MG Hi-νガンダムVer.Ka

ビーム・サーベルの収納ギミックを再現。カバーを展開すると内部ディテールもしっかりと造形されていることがわかる





※掲載している開発画稿は準備稿です。実際の商品とは異なります。

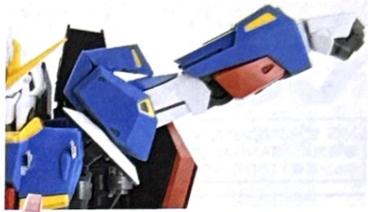


変形モデルに可動ギミックを盛り込んでいく

MOBILE SUIT MSZ-006
ZETA GUNDAM "Ver. Ka" DOCUMENTARY
BANDAI SPIRITS HOBBY DIVISION / HOBBY JAPAN



グレネード・パックを前腕に装着し前へスライドすると、連動してカバーが開きグレネード弾が露出する。手首を下に曲げる細かな動作も可能だ



変形ギミックと可動の両立を目指し、肩は白いブロックが上へ可動するだけでなく、外側へ開く。腕を振り上げたり、胸を張ったポーズにも対応できる



■肩と胴体の可動

ダブルゼータガンダムVer.Kaは胴体内にコア・ファイターを内蔵しながら腰をひねるポーズを実現。アニメオープニングフィルムでの四肢を広げ、腰をひねったポーズを再現できた。ウイングガンダムゼロ（EW）Ver.Kaでは、劇中でのツインバスターライフルの両手撃ちシーンを再現するために肩や腹部に可動ギミックが盛り込まれた



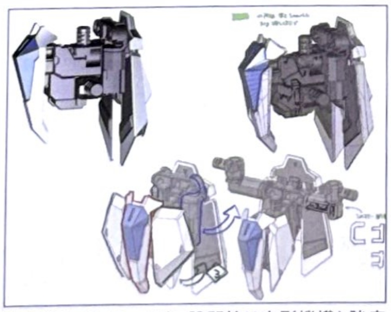
MGダブルゼータガンダムVer.Ka



MGウイングガンダムゼロ（EW）Ver.Ka



胸部が左右にスイングし、腹部は回転可動のほか前後に可動するギミックを内蔵している。胸部・腹部で計3ヵ所が可動する



股関節のディテール案。股関節は変形機構と強度を維持しながら、見映えも考慮してディテールが追加されている



腰部は前傾可動と左右のスイング可動を内蔵している。胸部・腹部と合わせて5ヵ所の可動を盛り込むことで、劇中での自然なポーズに対応する

先月号でも紹介したように、腰パーツとリアアーマーをクランク可動させて上に移動し、胴体に装着させるとロックがかかる

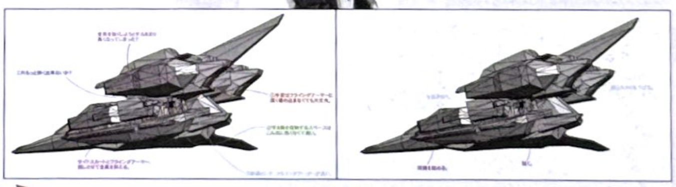


■ロック機構

ダブルゼータガンダムVer.KaのGフォートレスでは脚部左側のツメを展開して右側の穴に差し込み、バックパックの底面のツメを脚部に差し込むなど複数箇所にロック機構が内蔵されていた



MGダブルゼータガンダムVer.Ka

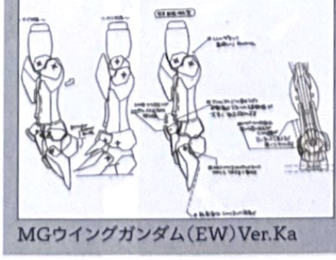




上の2点の開発画稿では、〈脚部を短くしようとしたため高くなってしまった位置を下げる〉〈腕と手を収納するために長くなったフライング・アーマーを短くする〉〈サイドアーマーをもっとフライング・アーマーに近づける〉などの修正案が書かれている。脚部はヒザブロックを2段階で折り畳み、つま先を閉じることでコンパクトに変形。設定画に近いフォルムになった

■脚部の変形

飛行形態への変形では人型を消す工夫がされており、つま先や関節の変形は常に進化している。小型で細身のデザインだと可動や変形機構を盛り込むスペースは限られており、可動を両立させるのも難しい



MGウイングガンダム（EW）Ver.Ka



MG Vガンダム Ver.Ka



MG V2ガンダム Ver.Ka



MGウイングガンダムゼロ（EW）Ver.Ka

MG MASTER GRADE Ver.Ka

MOBILE SUIT MSZ-006 ZETA GUNDAM "Ver.Ka" DOCUMENTARY

BANDAI SPIRITS HOBBY DIVISION / HOBBY JAPAN

連載 第6回

ドキュメンタリー"ゼータガンダム Ver.Ka"

MG ゼータガンダム Ver.Ka
●発売元／BANDAI SPIRITS ホビーディビジョン クリエイション部●7150円、4月予定●1/100、約18cm●プラキット

今月はマーキングデザイン、パッケージデザインに注目。パッケージイラストの制作過程や、デカールを貼ったテストショットを撮り下ろしで紹介しよう！

MESSAGE：BANDAI SPIRITS ホビーディビジョン パッケージ担当

カトキさんとのやり取りは、長い期間、じっくりゆっくりと進めていく感じです。今回のギミックやテーマポイントの視点や、過去フォーマットの視点などを踏まえまして、ゼータガンダムで言うとMSのプロポーションはもちろん、変形後のWR（ウェイブ・ライダー）を効果的に見せたいこと、縦や横などの絵の収まりも含め検討していきます。特にフォルム、シルエットの美しさを大事にしています。最初は仮CGテイク、ポーズ調整、などを提案、指示などを何度かやり取りし、CGポーズに関してもアングルハント（カメラで狙う）するイメージで微妙に異なる角度でいくつかトライアル試作を行い、納得のいく印象に高めていきます。

期間は数ヵ月にわたり、細かく数えると10数回くらいは、キャッチボールを重ねて仕上げていくイメージですね。これからも多くのファンに親しまれるように願っています。

キャッチボールを重ねて

■カトキ氏によるMSポーズ修正案

最初に上がってきた、MS形態のポーズイラストに対するカトキ氏の修正案。顔が襟パーツに隠れすぎてしまっているので、ZZガンダムのパッケージを参考にカメラ位置を上げて、もう少し見えるように。ヒジが曲げすぎで、ここまで力強く見えない程度の曲げ具合に。νガンダムのパッケージを例に挙げている。シールドが上がりすぎてパッケージでは先端が隠れてしまうため、マウント位置を下げる提案がされている



■基本と俯瞰アングルの比較

カトキ氏の修正案を反映したポーズ2案。顔の隠れ、ヒジの曲がり具合が修正されただけでなく、アングルも微妙に変えてある。右の比較画像はピンクが基本、緑が俯瞰。俯瞰は基本よりもカメラ位置が上がっている。さらにカトキ氏の監修を受けて、アングルが調整された数パターンを提案。場合によってはパーツ単位で見え方の調整が行われている







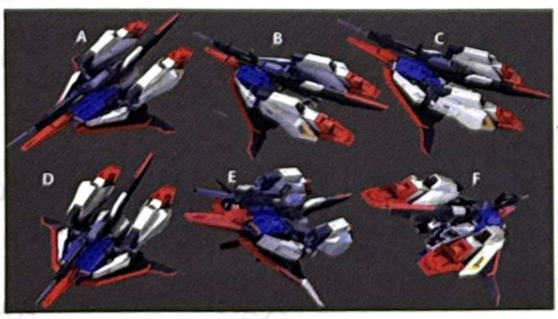
■修正：基本と俯瞰、最終調整の比較

最終調整版ではカメラ位置が上がり、さらにマスクが見えるようになった。身体の向きは正面気味に調整され肩関節が隠れている。隠れていたフライング・アーマーの末端が最終調整版では見えており、先端もより見えるようになっている

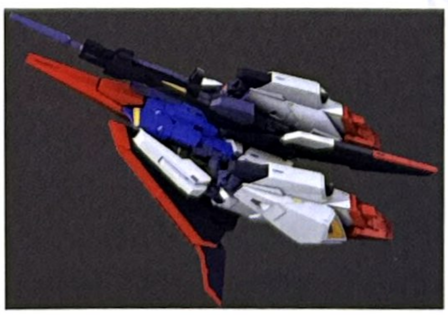


■カトキ氏によるWRポーズ修正案

左が背景のウェイブ・ライダー（WR）のポーズ案。初期段階ではパッケージのレイアウトが未定のため、さまざまなアングルが提案されている。MS形態との組み合わせを確認し、C案の方向に決定。右の修正案では翼の先端がMS形態に隠れず（右脚横の丸囲み）かつ、つま先とスタビライザー（右端の丸囲み）が切れてしまわないようにアングルを工夫する提案がカトキ氏からされている



CGイラストのWRポーズ案



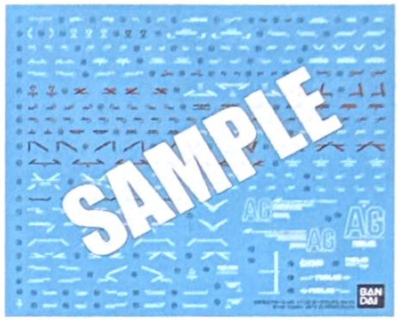
最終調整済みのWRのポーズ






■ゼータガンダムVer.Kaのマーキングデザイン

バンダイホビーサイトなどで公開されている商品画像を確認すると、これまでのVer.Kaアイテムと比べて大判のマーキングが少ない印象。今回のコンセプトがアニメオリジナルの追求であるため、マーキングは控えめにデザインされているものと思われる。水転写式デカールには、シールドやスタビライザーなどに貼る大判マーキングも用意されているので、好みで選択できる



ゼータガンダムVer.Kaの水転写式デカール






■カトキ氏によるパッケージのレイアウト案

縦横のサイズはウイングガンダムゼロ(EW)Ver.Kaと同じ。横長レイアウトはウイングゼロのような横に広がるデザインだと全体をうまく収められ、余白を活かせば高級感も演出できる。横長3案はWRのアングル、大きさが異なる。A案とB案は余白感はないが、メインのMSよりも目立ってしまっている。C案はWRが主張しすぎずMSとのバランスも改善されているが、余白が広い印象が拭えない。縦長のレイアウト3案はWRの位置がそれぞれ異なる。検討した結果、今回はMSの収まりのよさと余白のバランスから縦長のレイアウトC案をベースに仕上げられた



横長:A案



縦長:A案



横長:B案



縦長:B案



横長:C案



縦長:C案



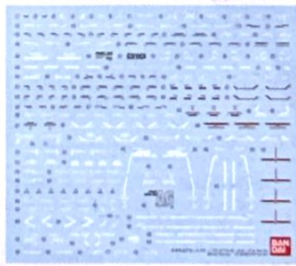
■完成パッケージデザイン

最終調整済みのCGイラストに商品と同じ位置へマーキングが貼り込まれ仕上げられている。MS形態の周囲にできた余白にWRが収まるように調整されているのがわかる。ガンプラの箱は〈黒〉が大半の中、Ver.Kaの〈白〉パッケージはサイズは変われど、20年間変わらず鮮烈な印象を与え続けている



■ダブルゼータガンダムVer.Kaのマーキングデザイン

ゼータガンダムとダブルゼータガンダムは「Z計画」により生み出された兄弟機で、開発年代も近く、同じアーガマ所属という設定。そのバックボーンを踏まえて、ゼータガンダムのマーキングはデザインされている。エゥーゴのマークや「AG」、型式番号のフォントはダブルゼータガンダムのものを踏襲していることがわかる


ダブルゼータガンダムVer.Kaの水転写式デカール










■νガンダムVer.Kaのマーキングデザイン

ゼータガンダムとνガンダムは同じアナハイム・エレクトロニクス社製であるが、開発年代も離れ所属艦も異なるため、マークなどデザインが異なる


νガンダムVer.Kaの水転写式デカール




MOBILE SUIT MSZ-006

ZETA GUNDAM "Ver.Ka" DOCUMENTARY

BANDAI SPIRITS HOBBY DIVISION / HOBBY JAPAN

Ver.Kaフォーマットのマーキングデザイン

■デカール貼り済みテストショット

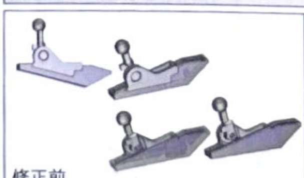
今回はテストショットに水転写式デカールを貼り、ツヤ消しトップコートを吹いている。全身に貼られたマーキングが、成型色で再現された全身のディテールと相まって情報量が増している。シャープな造形によりスミ入れをしていなくても、パーツの陰影がクッキリと浮かび上がっている



今回の撮り下ろしではVer.Kaらしい大判のマーキングを、肩、シールド、スタビライザーの側面に貼っている。胸元の「VMsAWrs」のマーキングは、「Variable Mobile suit And Wave rider system」の略。ゼータ系MSに共通で貼られている。「AG」はアーガマの所属であることを表している



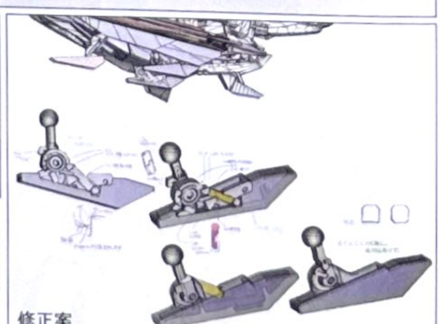




修正前

■ランディング・ギア

MG Ver.1.0ではパーツの差し替えで再現していたが、今回は差し替えなしで再現。修正案では、主脚やスキッドの基部にショックアブソーバーなど装置類をイメージさせるディテールが描き込まれている



修正案

※掲載している開発画稿は準備稿です。実際の商品とは異なります。



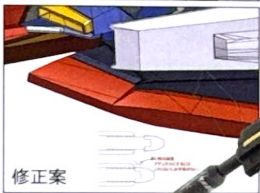


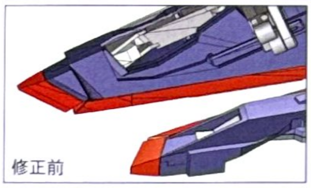
MS形態でスタビライザーと主翼を展開するのは、TV放送当時の版権イラストでも見られた構図。シルエットが広がり様になる

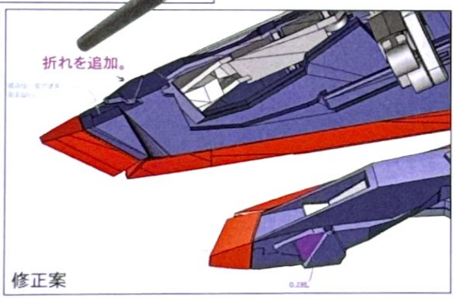
■フライング・アーマー

フライング・アーマー断面の凸部が単純な長方形になっていたため、修正案では段差と多角形を組み合わせたディテールを追加している





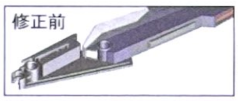


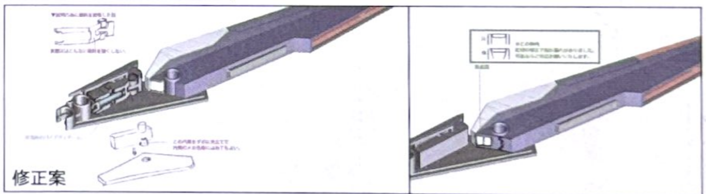


フライング・アーマーの側面に段差ができてしまい、TV版の流れるようなシルエットとは違っていたため、段差を修正。主翼の基部とスライドする部分にできる段差をナチュラルに見せる工夫も提案されている

■ロングテール・スタビライザー

スタビライザー基部の裏側は隠れて見えない部分であるが、修正案ではシリンダーやダクトの構造を思わせるディテールを追加。変形させるなかで見えてしまう部分にも気が配られている







シールドの大判デカールが映える。大判デカールを段差のある面にまたいで貼るのは難しいが、軟化剤や綿棒などを使えばきれいに貼ることができる



ビーム・ライフルは銃身がスライドし、縮めて前腕のマウントラッチに装着できるのは設定どおり。ビーム・サーベルは腰部サイドアーマーに収納できる

月刊ホビージャパンで振り返る、MG Ver.Kaの歩み

2004年4月号

(2004年2月25日発売)





MG Ver.Kaシリーズがはじめて本誌表紙を飾る。アイテムはシリーズ第2弾「XXXG-01W ウイングガンダム Ver.Ka」。シリーズ第1弾「RX-78-2 ガンダム Ver.Ka」発売からおよそ1年2ヵ月後のリリースとなった本キットを徹底レビュー。小熊しもんによるきっとレビュー作例に加え、当時キット化されていなかった1/100トールギスを、同スケールのトールギスIIから改造して、爪塚ひろゆきが立体化している。特集の最後にはカトキハジメ氏とBANDAI SPIRITS(当時バンダイ)の開発スタッフによる開発インタビューを収録するなど、Ver.Kaの魅力を余すことなく伝えている。



2003年2月号

(2002年12月25日発売)

シリーズ第1弾「RX-78-2 ガンダム Ver.Ka」は、発売月に「G vs G」と題して、1/100 エールストライクガンダムとともに巻頭特集として作例が登場。当時本誌エースモデラー・伊世谷大士の徹底改造作例が話題を呼んだ。



MG（マスターグレード）Ver.Kaが誕生してから20年。これまでプレミアムバンダイ販売やガンダムベースおよびイベント限定を含め、50点以上のアイテム以上がリリースされている。ここではシリーズ第１弾「RX-78-2 ガンダム Ver.Ka」の2002年12月発売から、2020年9月発売の「MGEX RX-0 ユニコーンガンダム Ver.Ka」までの軌跡を、選りすぐりの月刊ホビージャパン掲載記事よりピックアップして振り返る。

2014年10月号 （2014年8月25日発売）

「RX-93-ν2 Hi-νガンダム Ver.Ka」を表紙から巻頭特集で掲載。渡辺圭介による作例はプレミアムバンダイ販売アイテムのH.W.S.までフォローし、大ボリュームの12ページにわたり掲載。初心者向け企画「きみにもできる!! ガンプラ簡単製作法」ではシールや水転写式デカールの貼り方を中心に細かく解説している。







2016年2月号 （2015年12月25日発売）

年末の大注目キット「LM314V21 V2ガンダム Ver.Ka」をマイスターこと木村直貴が製作。キットの素性を最大限に活かした仕上げで、キットの持ち味を丁寧に解説している。



2018年2月号 （2017年12月25日発売）

プレミアムバンダイ販売アイテムの「MSZ-010S 強化型ダブルゼータガンダム Ver.Ka」をマイスター・木村直貴が製作。こちらもキットの素性を活かし、ディテールアップによる密度感の向上を目指している。

2020年11月号 （2020年9月25日発売）

「MGEX RX-0 ユニコーンガンダム Ver.Ka」を表紙に「ガンプラ40年目の出発」特集を敢行。「ENTRY GRADE RX-78-2 ガンダム」とともに、これからのガンプラの可能性を探っている。特集内では「デザイナーズブランド「Ver.Ka」としての進化」と題し、Ver.Kaシリーズが歩んだ進化の軌跡を解説している。





MASTER GRADE Ver.Ka KIT CATALOGUE

マスターグレード Ver.Ka キットカタログ

ここからはシリーズ第１弾「RX-78-2 ガンダム Ver.Ka」から、「XXXG-00W0 ウイングガンダムゼロEW Ver.Ka」までの25アイテムおよびプレミアムバンダイ販売アイテム、イベントおよびガンダムベース限定アイテムの合計56点を紹介する。商品写真に加え、Ver.Kaの魅力のひとつといえるパッケージデザインも含めお楽しみいただきたい。

※本書に記載している価格はすべて税10％込みの表記となります。
※データは2023年４月現在のものです。

マスターグレード Ver.Ka　アイテムリスト

販売方法	商品名	販売価格	販売時期	出展作品
一般販売	RX-78-2 ガンダム Ver.Ka	3520円	2002年12月	機動戦士ガンダム
一般販売	ウイングガンダム Ver.Ka	3850円	2004年3月	新機動戦記ガンダムW Endless Waltz
一般販売	ボール Ver.Ka	2200円	2004年12月	機動戦士ガンダム
一般販売	クロスボーン・ガンダムX1 Ver.Ka	3850円	2006年9月	機動戦士クロスボーン・ガンダム
一般販売	ユニコーンガンダム Ver.Ka	5500円	2007年12月	機動戦士ガンダムUC
一般販売	シナンジュ Ver.Ka	7700円	2008年12月	機動戦士ガンダムUC
一般販売	Vガンダム Ver.Ka	4180円	2009年12月	機動戦士Vガンダム
一般販売	Vダッシュガンダム Ver.Ka	6380円	2010年7月	機動戦士Vガンダム
一般販売	コア・ブースター Ver.Ka	2420円	2010年7月	機動戦士Vガンダム
一般販売	フルアーマーユニコーンガンダム Ver.Ka	8800円	2011年12月	機動戦士ガンダムUC
一般販売	νガンダム Ver.Ka	7700円	2012年12月	機動戦士ガンダム 逆襲のシャア
一般販売	シナンジュ・スタイン Ver.Ka	7700円	2013年2月	UC-MSV
一般販売	サザビー Ver.Ka	9900円	2013年12月	機動戦士ガンダム 逆襲のシャア
一般販売	Hi-νガンダム Ver.Ka	7700円	2014年8月	機動戦士ガンダム 逆襲のシャア ベルトーチカ・チルドレン
一般販売	V2ガンダム Ver.Ka	4950円	2015年12月	機動戦士Vガンダム
一般販売	フルアーマー・ガンダム Ver.Ka (GUNDAM THUNDERBOLT版)	7700円	2016年7月	機動戦士ガンダム サンダーボルト
一般販売	高機動型ザク "サイコ・ザク" Ver.Ka (GUNDAM THUNDERBOLT版)	9900円	2016年12月	機動戦士ガンダム サンダーボルト
一般販売	ダブルゼータガンダム Ver.Ka	6600円	2017年9月	機動戦士ガンダムZZ
一般販売	ユニコーンガンダム2号機バンシィ Ver.Ka	5500円	2018年3月	機動戦士ガンダムUC
一般販売	FAZZ Ver.Ka	12100円	2020年2月	ガンダム・センチネル
一般販売	(MGEX) ユニコーンガンダム Ver.Ka	25300円	2020年9月	機動戦士ガンダムUC
一般販売	ウイングガンダム ゼロEW Ver.Ka	6050円	2020年11月	新機動戦記ガンダムW Endless Waltz
一般販売	ゼータガンダム Ver.Ka	7150円	2023年4月	機動戦士Zガンダム
期間限定生産	ユニコーンガンダム Ver.Ka [チタニウムフィニッシュ]	8800円	2009年3月	機動戦士ガンダムUC
一般販売	シナンジュ Ver.Ka [チタニウムフィニッシュ]	13200円	2010年7月	機動戦士ガンダムUC
一般販売	νガンダム Ver.Ka [チタニウムフィニッシュ]	17600円	2013年11月	機動戦士ガンダム　逆襲のシャア
プレミアムバンダイ	小説版ユニコーンガンダム2号機バンシィ Ver.Ka 最終決戦仕様	5500円	2012年3月	機動戦士ガンダムUC
プレミアムバンダイ	クロスボーン・ガンダムX2 Ver.Ka	4840円	2013年6月	機動戦士クロスボーン・ガンダム
プレミアムバンダイ	クロスボーン・ガンダムX3 Ver.Ka	4840円	2013年12月	機動戦士クロスボーン・ガンダム
プレミアムバンダイ	Hi-νガンダムVer.Ka用HWS拡張セット	3024円	2014年9月	CCA-MSV
プレミアムバンダイ	サザビー Ver.Ka & RE/100 ナイチンゲール用拡張ファンネルエフェクトセット	1870円	2015年7月	機動戦士ガンダム 逆襲のシャア／CCA-MSV
プレミアムバンダイ	V2ガンダム Ver.Ka用拡張エフェクトユニット "光の翼"	2200円	2016年1月	機動戦士Vガンダム
プレミアムバンダイ	ウエポン&アーマーハンガーFOR フルアーマー・ガンダム Ver.Ka (GUNDAM THUNDERBOLT版)	2860円	2016年11月	機動戦士ガンダム サンダーボルト
プレミアムバンダイ	νガンダム HWS Ver.Ka	10340円	2016年12月	CCA-MSV
プレミアムバンダイ	νガンダム Ver.Ka用 HWS拡張セット	2592円	2016年12月	CCA-MSV
プレミアムバンダイ	クロスボーン・ガンダムX2改 Ver.Ka	4840円	2017年6月	機動戦士クロスボーン・ガンダム
プレミアムバンダイ	フルアーマー・ガンダム Ver.Ka (GUNDAM THUNDERBOLT版) ラストセッションVer.	7480円	2017年8月	機動戦士ガンダム サンダーボルド
プレミアムバンダイ	高機動型ザク "サイコ・ザク" Ver.Ka (GUNDAM THUNDERBOLT版) ラストセッションVer.	9350円	2017年9月	機動戦士ガンダム サンダーボルド
プレミアムバンダイ	強化型ダブルゼータガンダム Ver.Ka	8800円	2017年12月	機動戦士ガンダムZZ
プレミアムバンダイ	ダブルゼータガンダム Ver.Ka用 強化型拡張パーツ	2200円	2017年12月	機動戦士ガンダムZZ
プレミアムバンダイ	V2アサルトバスターガンダム Ver.Ka	7700円	2018年12月	機動戦士Vガンダム
プレミアムバンダイ	V2ガンダム Ver.Ka用 アサルトバスター拡張パーツ	2750円	2018年12月	機動戦士Vガンダム
プレミアムバンダイ	クロスボーン・ガンダムX0 Ver.Ka	4840円	2019年8月	機動戦士クロスボーン・ガンダム ゴースト
プレミアムバンダイ	(MGEX)ユニコーンガンダム Ver.Ka [プレミアム "ユニコーンモード" ボックス]	25300円	2020年9月	機動戦士ガンダムUC
プレミアムバンダイ	クロスボーン・ガンダムX1 (パッチワーク) Ver.Ka	4950円	2021年5月	機動戦士クロスボーン・ガンダム 鋼鉄の7人
イベント限定	Hi-νガンダムH.W.S.Ver.Kaメカニカルクリア	11550円	2015年11月	機動戦士ガンダム 逆襲のシャア ベルトーチカ・チルドレン
イベント限定	サザビー Ver.Kaメカニカルクリア	9900円	2016年8月	機動戦士ガンダム 逆襲のシャア
イベント限定	ダブルゼータガンダム Ver.Ka [クリアカラー]	6600円	2018年12月	機動戦士ガンダムZZ
ガンダムベース限定	ガンダムベース限定 サザビー Ver.Ka [スペシャルコーティング]	19440円	2018年12月	機動戦士ガンダム　逆襲のシャア
イベント限定	高機動型ザク "サイコ・ザク" Ver.Ka (GUNDAM THUNDERBOLT版) [ハーフメカニカルクリア]	9900円	2019年4月	機動戦士ガンダム サンダーボルト
ガンダムベース限定	ガンダムベース限定 V2アサルトバスターガンダム Ver.Ka [チタニウムフィニッシュ]	16500円	2020年5月	機動戦士Vガンダム
ガンダムベース限定	ガンダムベース限定 FAZZ Ver.Ka [チタニウムフィニッシュ]	24200円	2021年4月	ガンダム・センチネル
ガンダムベース限定	ガンダムベース限定 ボール Ver.Ka [メカニカルクリア]	2750円	2021年9月	機動戦士ガンダム
ガンダムベース限定	ガンダムベース限定 ウイングガンダムゼロEW Ver.Ka [クリアカラー]	6050円	2021年12月	新機動戦記ガンダムW Endless Waltz
ガンダムベース限定	(MGEX) ユニコーンガンダム Ver.TWC	27500円	2020年12月	機動戦士ガンダムUC
ガンダムベース限定	ガンダムベース限定ウイングガンダムゼロEW Ver.Ka[チタニウムフィニッシュ]	15950円	2022年12月	新機動戦記ガンダムW Endless Waltz
SIDE-F限定	GUNDAM SIDE-F限定RX-93 νガンダム Ver.Ka (サイコフレーム発動イメージカラー)	7700円	2022年8月	機動戦士ガンダム 逆襲のシャア

RX-78-2 GUNDAM Ver.Ka

MG 1/100
RX-78-2 ガンダム Ver.Ka

出典作品『機動戦士ガンダム』
2002年12月発売
3520円



デザイナー・カトキハジメ氏がプロデュースするマスターグレードブランド"Ver.Ka"第1弾。「MG RX-78-2 ガンダム Ver.1.5」を経て誕生しており、頭部含め、肩、脚部などをディテールアップ。プロポーション、可動の刷新が図られている。成型色はアニメ版と比べて、淡いカラーを採用。また、脚部フレームは「MG ジム改」と共通構造となっている。そもそも"Ver.Ka"はガレージキットなどで展開されていたカトキ氏によるハードディテールのリファイン版の総称。GK版RX-78-2 ガンダム Ver.Kaのデザインラインは、同じくカトキ氏デザインのRGM-79C ジム改に反映されていることもあり、ある意味、兄弟機と言える。マーキングシール、ガンダムデカールが付属する。





コア・ファイターもリファイン。機首部やインテークなど、より航空機をイメージしたデザインとなっている







コア・ブロックへの変形機構を再現。A・Bパーツの内部に収納できる。また、非変形のコア・ブロックも付属する



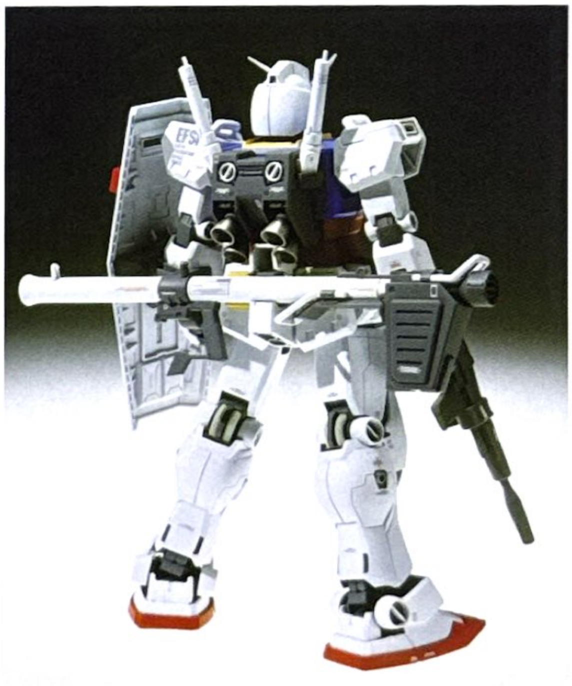








コクピットハッチは開閉式。非変形のコア・ブロック用にもアムロの着座フィギュアが付属する





ディテールアップされた頭部。ツインアイ下部のモールドやメット頬部前方のインテークなどが特徴



ランドセルは内部メカまで再現。腰背部は装甲の展開により、ハイパー・バズーカをマウント可能











各種武装が付属。ビーム・ライフルとハイパー・バズーカは照準センサーの共通化が図られた。シールドは裏部までディテールアップ

XXXG-01W
WING GUNDAM Ver.Ka

MG 1/100
XXXG-01W
ウイングガンダム Ver.Ka

出典作品『新機動戦記ガンダムW Endless Waltz』
2004年3月発売　3850円

いわゆるEW版ウイングガンダムをVer.KaとしてMG化したモデル。『新機動戦記ガンダムW Endless Waltz』時、ウイングガンダムゼロをベースに、あらためてカトキ氏が初期型のウイングガンダムをデザイン。アーリー版とも呼ばれる。スーパーモデルのような8頭身のプロポーション、曲面を取り入れたラウンドシェイプのフォルムなど、従来のMGシリーズとは一線を画す立体化となった。また、翼はパーツ数が少ないにも関わらず、複雑な面構成と色分けを両立しており、アーリー版の特徴のひとつとなっている。バード形態への変形は肩や脚の折り畳み、シールドとバスターライフルの合体で再現されている。





アニメ版と異なり、頭部のバルカン砲はなし。両肩にはマシンキャノンを内蔵。コクピットハッチは開閉式で、ヒイロの着座フィギュアが付属する



高速飛行形態であるバードモードへの変形機構を再現。シールドとバスターライフルが機首部となり、脚部はヒザのクランク状の可動により折りたたまれている

翼の「COLONIES LIBERATION ORGANIZATION」のマーキングはガンダムデカールで再現。ライフルなど、細部もマーキングによりリアリティを演出

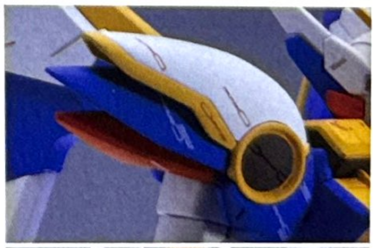




ボリュームのある翼が独特なシルエットを生み出している背面は、ウイングガンダムの大きな見どころのひとつ。肩やふくらはぎなどの曲面構成など、フォルムの美しさも同キットの特徴と言える



バスターライフルは両手持ちも可能。腕部にはシールドのほか、エネルギーカートリッジを装着できる





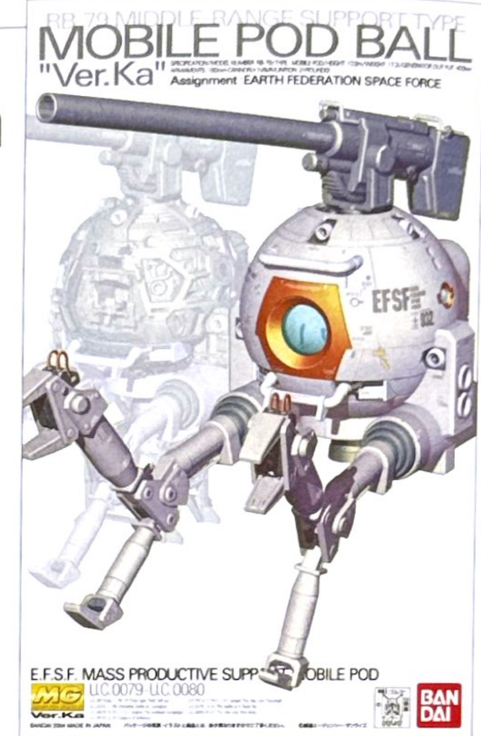


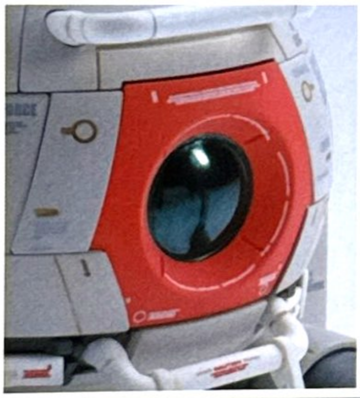
RB-79 MOBILE POD BALL Ver.Ka

MG 1/100
RB-79 ボール Ver.Ka

出典作品『機動戦士ガンダム』
2004年12月発売
2200円

Ver.Ka第3弾であり、ボール初のMGモデル。カトキ氏はボールを一年戦争のマストアイテムのひとつとして捉えつつ、内部構造の再現をコンセプトとした。デザインは『機動戦士ガンダム0083 STARDUST MEMORY』版をベースとしながら、立体としての見映えを重視したディテールアップと新規マーキングが施されている。内部はトラスフレーム構造を採用、奥行きのあるディテールと内部構造を実現。また、外装パーツの裏側のモールドは内部構造を意識しており、装甲の表裏にもリアリティが追求されている。一見、単調な球状フォルムながら、パネルラインを意識したモールドもあり、情報量は多い。付属の台座で、フレーム状態でもディスプレイできる。













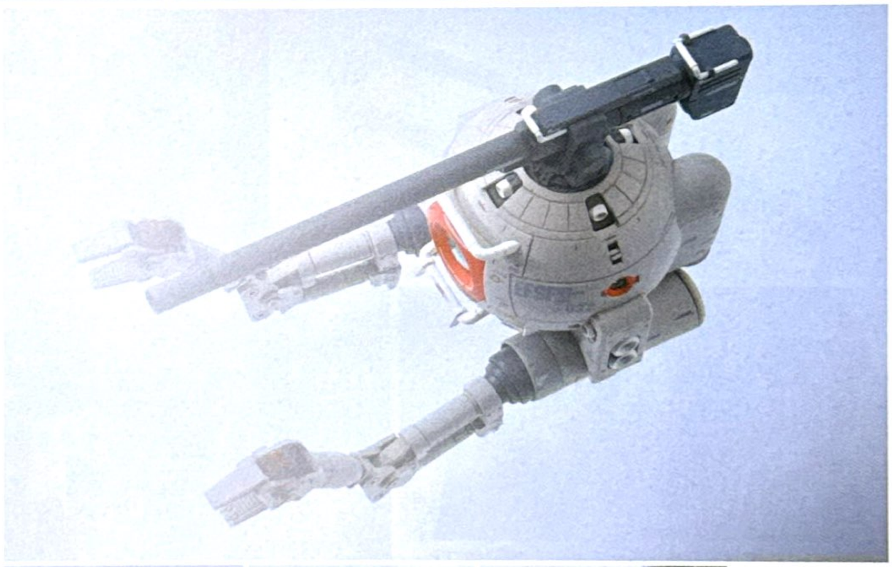
球体にマニピュレーター、180mmキャノン砲を取り付けたシンプルな構造ながら、ディテールアップによりリアリティを付与。コクピットハッチは引き出し機構により開閉可能





外装パーツは全体的にパネルラインを意識したモールドが施されている。また、マニピュレーターにはサブアームの展開、収納機構を搭載





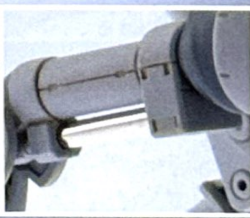












アームにはリード線のほか、金属パーツを使用し、質感においてもリアリティを追求





内部フレームはカトキ氏がMG用に新規デザイン。コアフレームの上に、トラスフレームを左右から組み合わせる構造となっている

XM-X1
CROSSBONE GUNDAM X1 Ver.Ka

MG 1/100
XM-X1
クロスボーン・ガンダムX1 Ver.Ka

出典作品「機動戦士クロスボーン・ガンダム」
2006年9月発売　3850円



コミックでもカトキ氏がデザインを担当したクロスボーン・ガンダムを"Ver.Ka"としてセルフリファイン。内部フレームを「MG ガンダムF91」と共通化することで、系列機としての設定を踏まえつつ、外装の完全新規金型により、"Ver.Ka"ならではのフォルムとプロポーションが演出されている。コア・ファイターは合体機構とともに、大型スラスターの可動機構を実現。スラスターはX時状に展開可能で、クロスボーン・ガンダムの特徴的なシルエットを描く。また、同機の特徴であるABCマントをナイロン樹脂にて再現。パーツの組み替えにより、X1改、X1改・改も再現できる。


コア・ファイター。メインスラスターを折り畳むことで、高速移動形態へと変形


コクピットハッチは開閉式。ハッチオープン時にはコア・ファイターのキャノピー部が露出する


額のドクロが印象的な頭部。F91 系列機であることを彷彿させるフェイスオープン機構を再現している


脚部は内部フレームも再現。脚部にも F91 からの発展型としてのデザインが盛り込まれている





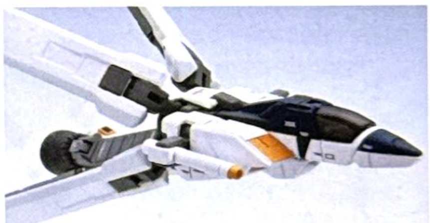






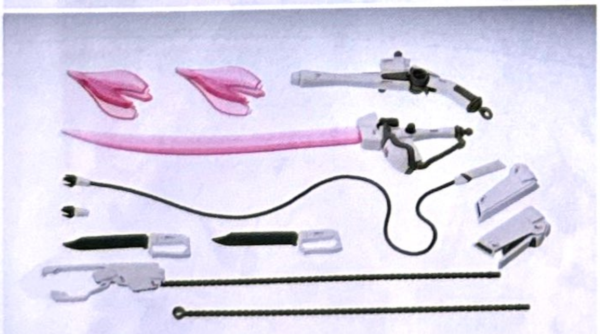
ABC マントはナイロン樹脂製で、ポージングに合わせてフォルムが変わる

コア・ファイターのメインスラスターは折り畳み機構を採用。左右にビーム・サーベルを搭載





メインスラスター展開状態のコア・ファイター。バーニアノズルの基部も可動する

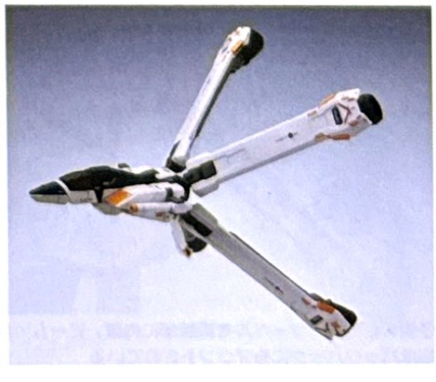




多彩な武器が付属。フロントアーマーのシザー・アンカー、さらにX1改のスクリュー・ウェッブも再現







RX-0 UNICORN GUNDAM Ver.Ka

MG 1/100 RX-0 ユニコーンガンダム Ver.Ka

出典作品『機動戦士ガンダムUC』
2007年12月発売　5500円

ユニコーンガンダム初の立体化であり、変身機構を実現したモデル。現在、RG、PGなどのガンプラはもちろん、数多の立体シリーズでユニコーンモードからデストロイモードへの変身が再現されているが、すべてはこのVer.Kaが原点となる。デザイン当初、立体化において障壁となることが懸念されていたブレードアンテナの展開を差し替えなしで再現。さらに頭部にはフェイスカバーの収納など多彩なギミックが盛り込まれている。サイコフレームは発光をイメージして集光性の高いクリアー素材を採用。デストロイモードでは各部装甲が展開し、サイコフレームが露出する。




ユニコーンモード用の非変形ブレードアンテナのほか、一本角から二本角に変形する変形用が付属する



装甲展開によるサイコフレームの露出。ブラックライトにより発光するクリアーパーツは、のちにHG ユニコーンガンダム、G-レコ HGシリーズにも採用された


予備のビーム・サーベルを両腕部に内蔵。ビーム・サーベルはバックパックにもマウントされている





デストロイモードの背部。バックパックの上部中央にはハイパー・バズーカ用のマウントラッチを備えている。スカート後方からはバーニア部が展開する



ユニコーンガンダムの武装。ビーム・マグナム、ハイパー・バズーカ、ビーム・サーベル、シールドが付属。ビーム・マグナムはエネルギー・パックも再現











デストロイモードとユニコーンモードで、頭身、全高が異なる。頭部ブレードアンテナや各装甲の展開、およびヒールの倒立など、変身ギミックが各部に盛り込まれている

MSN-06S
SINANJU Ver.Ka

MG 1/100
MSN-06S シナンジュ Ver.Ka

出典作品『機動戦士ガンダムUC』
2008年12月
7700円

ユニコーンガンダムに続き、シナンジュ初の立体化モデルとなったVer.Ka。多層構造体の甲冑をイメージし、多層装甲パーツを採用。シナンジュの特徴である曲線をメインとした有機的なフォルム、各部のエングレービングを再現している。ゴールド部分を再現するためのシール、および水転写式デカールが付属。バックパックの翼を彷彿させる大型推進器には、スラスターの展開機構を内蔵する。ロングバレルのビーム・ライフルはVer.Ka用に新規デザインされた武装で、のちの映像化においては標準装備となった。また、ビーム・ライフルにはシールドのグレネード・ランチャーを追加装着できる。





胸部や腕部には造形によりエングレービングを再現。コクピットハッチは開閉式となっている









大型バックパックは外装パーツと連動してスラスターが展開。脚部のフレキシブル・スラスターにも可動機構を搭載









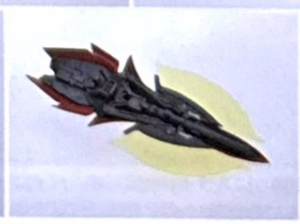


プロペラント・タンクは基部のボールジョイントで可動する











LM312V04
VICTORY GUNDAM Ver.Ka



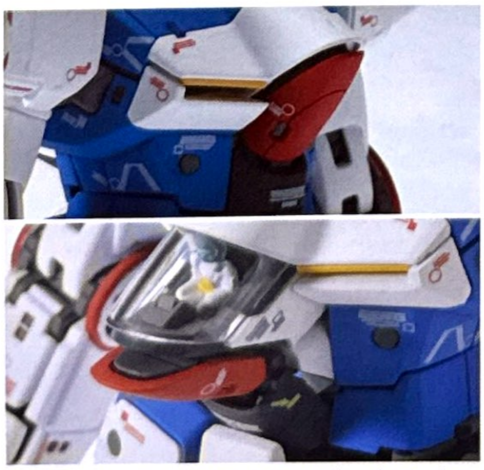
MG 1/100
LM312V04 Vガンダム Ver.Ka

出典作品『機動戦士Vガンダム』
2009年12月発売
4180円

カトキ氏自らがメカニックデザインを手掛けたヴィクトリーガンダムの初MGモデル。1/100スケール約15cmの小型サイズながら、放送当時のガンプラでは実現できなかった、コア・ファイターを中心とした合体変形機構を再現。コア・ファイターはVガンダム用とVガンダムヘキサ用の2種類が付属する。また、トップ・リム、ボトム・リム、それぞれとの合体により、トップ・ファイター、ボトム・ファイターになる。ガンダム系としてはめずらしい曲面デザインだが、Ver.Kaとしてクロスボーン・ガンダム、シナンジュとラウンドフォルム機の開発を経ることで、造形面のノウハウを蓄積。Vガンダムのフォルム再現へと至った。ビーム・シールドはPET製で、エフェクトが印刷されている。


ヘキサタイプの頭部との差し替えが可能。頭部のV字状ブレードアンテナが通信・索敵強化用アンテナになっている

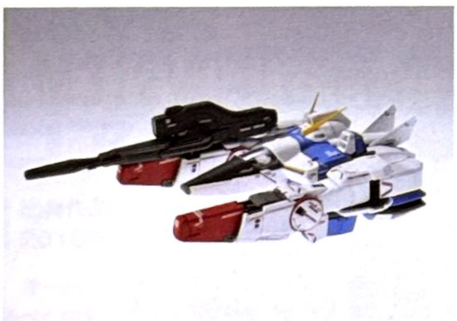

Vガンダム用のコア・ファイター。Vガンダムへの合体時は頭部、胸部となる。キャノピーはクリアーパーツ製


コクピットは設定通りにスライド展開可能。パイロットフィギュアはウッソ、マーベットの2種類が付属する













コア・ファイターと上半身トップ・リム、下半身ボトム・リムとの合体機構を再現













腕部はビーム・サーベルを内蔵。ビーム・サーベルやビーム・シールド用のエフェクト、ウッソの立ちフィギュアも付属

LM312V04+SD-VB03A
V-DASH GUNDAM Ver.Ka

MG 1/100
LM312V04+SD-VB03A
Vダッシュガンダム Ver.Ka

出典作品『機動戦士Vガンダム』
2010年7月発売　6380円

Vとコア・ブースターのセット。オーバーハング・キャノン装備のVダッシュガンダムを再現できる。また、コア・ファイターはVヘッド仕様2機、ヘキサヘッド仕様2機が付属し、コア・ファイター、トップ・ファイター、ボトム・ファイター、コア・ブースターの全形態をまとめてディスプレイできる。ビーム・ライフルやビーム・シールドなどVガンダムの標準装備のほか、ビーム・スマートガン、ガトリングガン、ビーム・カノン、ディスポーザブル・バズ、さらに4連ミサイル、ジャベリンなどの武装を追加。また、アニメエンディング仕様のVガンダムヘキサ再現用に青色の足カバーが付属する。







ビーム・カノンは腰アーマー側面のハードポイントに装着可能。砲身のスライドやグリップの展開などのギミックを搭載









右手にビーム・スマートガン、左手にガトリングガンを携行。さらに機体各部のハードポイントに多彩な武装を装備できる







エンディングに登場した、足カバーが青のヘキサも再現可能

LM312V04(B-part)+SD-VB03A CORE BOOSTER

MG 1/100
LM312V04（B-part）＋SD-VB03A コア・ブースター Ver.Ka

出典作品『機動戦士Vガンダム』
2010年7月発売　2420円

オーバーハング・パック装備のコア・ブースター単体仕様。機体の厚みをなるべく抑えることで、航空機らしいシルエットが追求されている。ビーム・スマートガン、ガトリングガン、ディスポーザブル・バズ、さらに4連ミサイル、ジャベリンのほか、コア・ファイター（Vヘッド仕様、ヘキサヘッド仕様）が付属する。機体下部にはビーム・スマートガンを装着可能。「MG Vガンダム Ver.Ka」との組み合わせで、Vダッシュガンダムを再現できる。













RX-0
FULLARMOR UNICORN GUNDAM Ver.Ka

MG 1/100
RX-0 フルアーマーユニコーンガンダム Ver.Ka

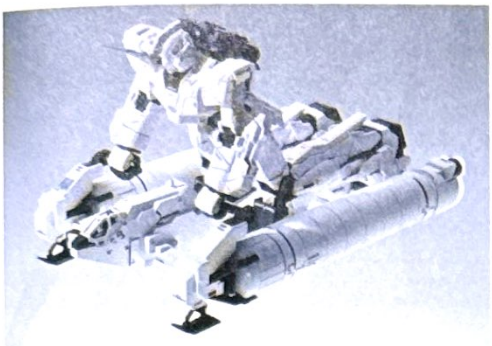
出典作品『機動戦士ガンダムUC』
2011年12月発売　8800円

"フルアーマー"と命名された重装備仕様のユニコーンガンダム。多彩な武装、および大型スラスター、装備をマウントするための背部フレームなどを追加。ハイパー・ビーム・ジャベリンは、福井晴敏氏のアイデアを元にカトキ氏が新規デザインした武装である。同武装には収納形態やショート・ジャベリンへの変形機構が盛り込まれている。また、サイコフレームは通常のクリアーレッドからエメラルドグリーン仕様のクリアー成型色へと変更。大型ブースターはコクピットブロックやメインフレームとの組み合わせで、94式ベースジャバーを再現可能。SFSとしてMSの搭乗もできる。





ハイパー・ビーム・ジャベリンは Ver.Ka オリジナル武装としてデザインされた武器。ハイパー・バズーカは背部装着時、ハンド・グレネード・ユニットなどのマウント・フレームと化す



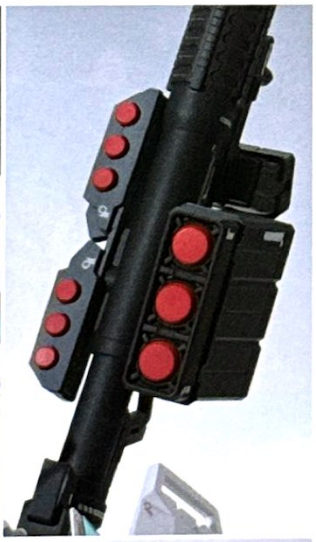




94 式ベースジャバーの複座型コクピット

大型スラスターを支えるためのスラスター・サポート・スタンドで重装備形態を保持できる

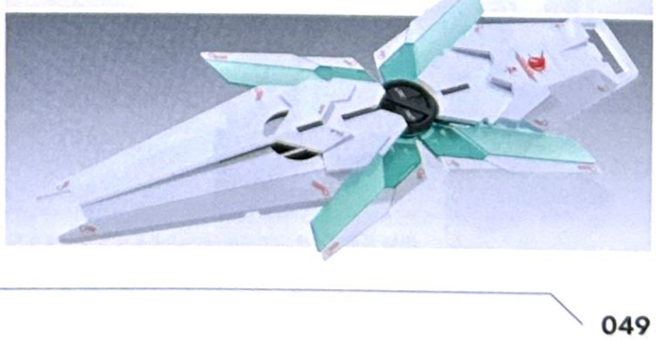






FA ユニコーンの武装一式。ビーム・ガトリングガン、シールドなど全９種類の武器が付属する





RX-93 ν GUNDAM Ver.Ka

MG 1/100
RX-93 νガンダム Ver.Ka

出典作品『機動戦士ガンダム 逆襲のシャア』
2012年12月発売
7700円

MG Ver.Ka10周年のアニバーサリーモデルとして開発されたνガンダム。かつてお台場にあった施設「ガンダムフロント東京」内のDOME-G映像と連動したデザインとなっている。最大の特徴は通常モードから発動モードへの変形にある。劇中の設定ではνガンダムのサイコフレームはコクピット周りのみだが、DOME-G映像では四肢や胴部にもサイコフレームを内蔵。発動モードでは装甲が展開し、クリアーグリーンのサイコフレームが露出する。別売りのLEDユニットに対応しており、発光演出も可能。エモーション・マニピュレーターSPを採用しており、各指が可動する。





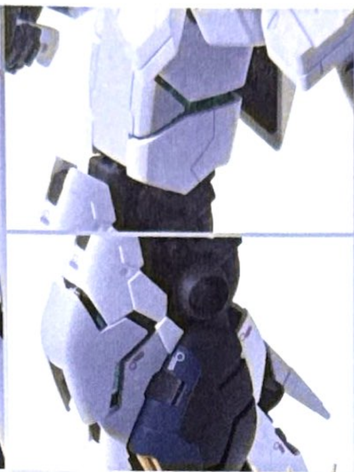


胸部インテーク下のパーツはネイビーと白の選択式。白はDOME-Gの映像版を再現している











DOME-G で披露された発動モード。各部の装甲が展開、バックパックは装甲がパージされ、スラスターユニットがむき出しとなる

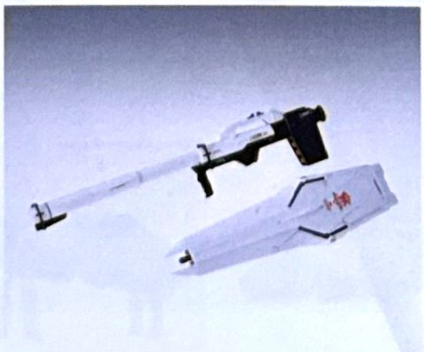


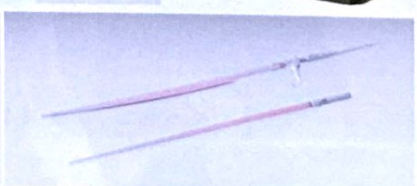




各種武装のほか、アムロ・レイのフィギュアが付属。1/100 スケールで座り、立ちを再現









内部フレームのほか、フィン・ファンネルの可動部などにも KPS を採用

MSN-06S SINANJU STEIN Ver.Ka

MG 1/100 MSN-06S シナンジュ・スタイン Ver.Ka

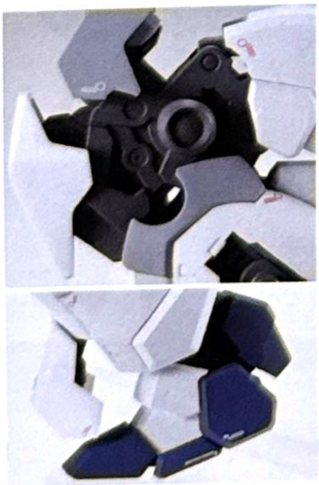


出典作品『機動戦士ガンダムUC MSV』
2013年2月発売　7700円

シナンジュ本来の姿を再現したモデル。エングレービングなど装飾を施された袖付きの赤いシナンジュと異なる、連邦系MSらしい直線的な装甲デザインが特徴である。一方で多重装甲や脚部フレキシブル・スラスターなどは踏襲されており、袖付きシナンジュと同一機である来歴を彷彿させる。ライトグレーの機体色は白やグレーの明暗で色分け。「MG シナンジュ Ver.Ka」をベースとしながら、ランナー22枚中、15枚に新規金型を採用している。また、一部、内部フレームを流用としながら、ヒザ部は二重関節へとアップデート。足裏のディテール形状やつま先など新規デザインとなっている。



コクピットは開閉式。胸部ブロックは上方へと可動する



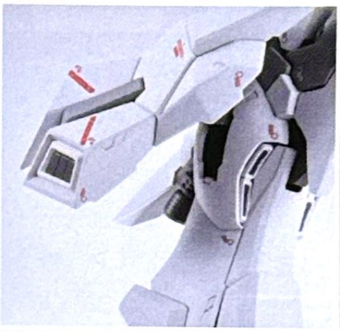
ヒザの二重関節、およびつま先・かかと部の可動。足首の装甲も可動する

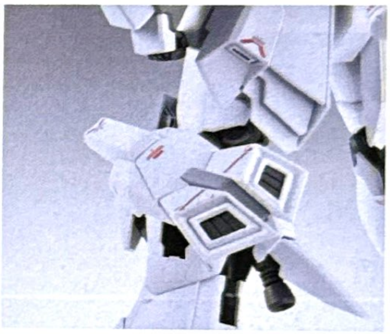


ハイ・ビーム・ライフルを手にしたシナンジュ・スタイン。ハンドパーツは「MG νガンダム Ver.Ka」同様、各指が可動するエモーション・マニピュレーター SP 仕様となっている







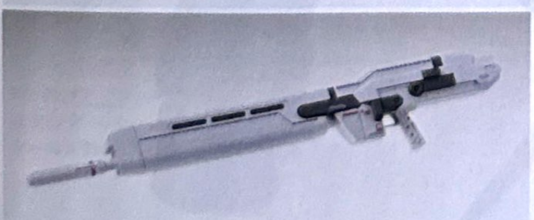














ハイ・ビーム・ライフルなどの武装のほか、フル・フロンタルのフィギュアも付属





ビーム・サーベルは上
腕ユニットからビーム
刃の発振もできる

XM-X2
CROSSBONE GUNDAM X2 Ver.Ka

PREMIUM BANDAI
プレミアム バンダイ

MG 1/100
XM-X2
クロスボーン・ガンダムX2 Ver.Ka

出典作品『機動戦士クロスボーン・ガンダム』　2013年6月発売　4840円



クロスボーン・ガンダムX1の同型機となる2号機。「MG クロスボーン・ガンダムX1 Ver.Ka」をベースとしながら、成型色をダークカラーへと変更。X1と異なるツインブレードの形状、そしてX2ならではの武装ショット・ランサーなどは新規造形にて再現されている。マーキングはX2用に新規デザイン。胸部のエンブレムはクロスボーン・バンガード仕様含め、複数種類から選択できる。コア・ファイターは合体機構とともに、大型スラスターの可動機構を再現。クロスボーン・ガンダムの特徴であるABCマントはナイロン樹脂製で、ポーズに合わせてフォルムを変えられる。新規造形のザビーネ・シャルのフィギュア（立ち・コクピット）が付属する。











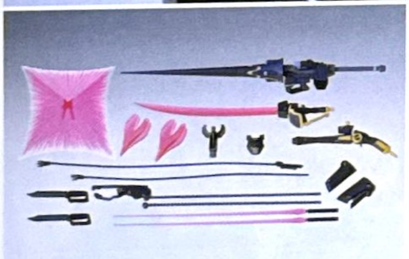


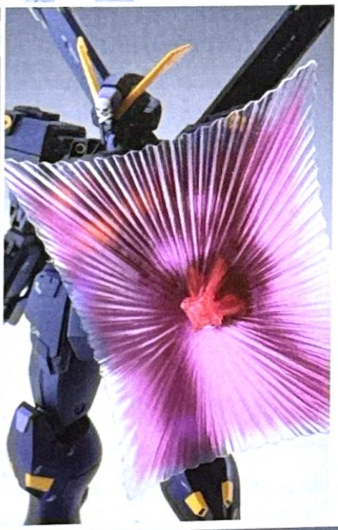


ABC マントを装着したクロスボーン・ガンダム X2。機体のダークカラーもあり、X1 と対照的な姿と言える















X2 のコア・ファイター。キャノピーはクリアーパーツ製。メインスラスターは可動式で、X 字へ展開できる



MSN-04
SAZABI Ver.Ka

MG 1/100
MSN-04
サザビー Ver.Ka

出典作品『機動戦士ガンダム 逆襲のシャア』
2013年12月発売
9900円



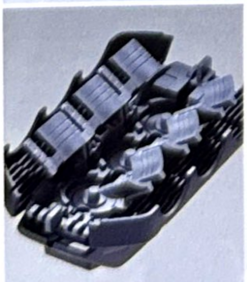
先祖返りと進化をコンセプトとした、新たなるサザビー。「MG νガンダム Ver.Ka」と対となる存在であり、DOME-G映像と連動したデザインでの立体化となった。"進化"においては装甲展開によるフォルムの変化を実現、"先祖返り"としてはMG第1弾「MG RX-78-2 ガンダム」で再現されたハッチオープンがイメージされている。外装色の赤には明暗3段階の成型色を使用することで、装甲分割のリアリティを表現。また、フレーム部のシルバー樹脂は、ウェルドライン（表面の成型ムラ）が従来よりも目立たない新素材を採用。塗装なしでも、フレーム露出時の質感が演出されている。



頭部はヒサシとクリアーのバイザー、マスクの展開より、モノアイレールの奥にコクピットブロックの内蔵を確認できる







ファンネル・コンテナ。内部ディテールも再現



各装甲の展開。ハッチオープンをイメージしており、隙間からはシルバーのフレームやメカが垣間見える





映画発表時のイメージボードで描かれていたロング・ライフルを立体化。ハンドパーツはエモーション・マニピュレーター SP を採用

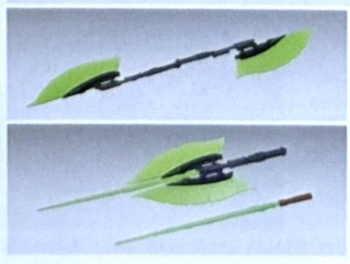








ビーム・ショット・ライフルのほか、多彩な武装が付属する





XM-X3
CROSSBONE GUNDAM X3 Ver.Ka

PREMIUM BANDAI
プレミアムバンダイ

MG 1/100
XM-X3
クロスボーン・ガンダムX3 Ver.Ka

出典作品『機動戦士クロスボーン・ガンダム』 2013年12月発売 4840円



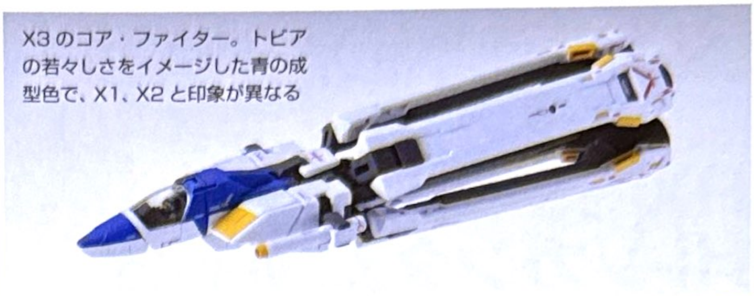
Ver.Kaにおけるクロスボーン・ガンダム第3弾。「MG クロスボーン・ガンダムX1 Ver.Ka」をベースとしながら、X1、X2と異なる明るいブルーと白のカラーリングを成型色にて再現。頭部や武装などに新規金型を採用することで、トビア・アロナクスの搭乗機を立体化している。X3の特徴的な武装である前腕部のIフィールド・ジェネレーターには開閉ギミックを搭載。また、Iフィールド発生シーンをより印象的にポージングするべく、掌にモールドを施したハンドパーツも付属する。ムラマサ・ブラスターは、剣の側面から発生するビームの刃をクリアーエフェクトパーツで再現できる。



頭部は額のナンバリングやブレードアンテナの形状を新規造形にて再現。胸部のドクロはX1改・改と同パーツとなっている





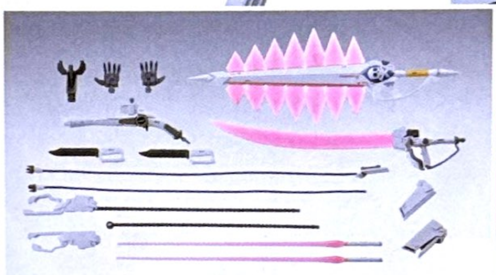


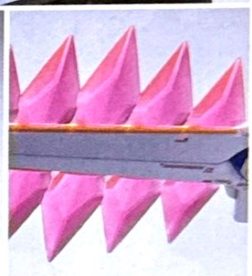
X3 のコア・ファイター。トビア
の若々しさをイメージした青の成
型色で、X1、X2 と印象が異なる

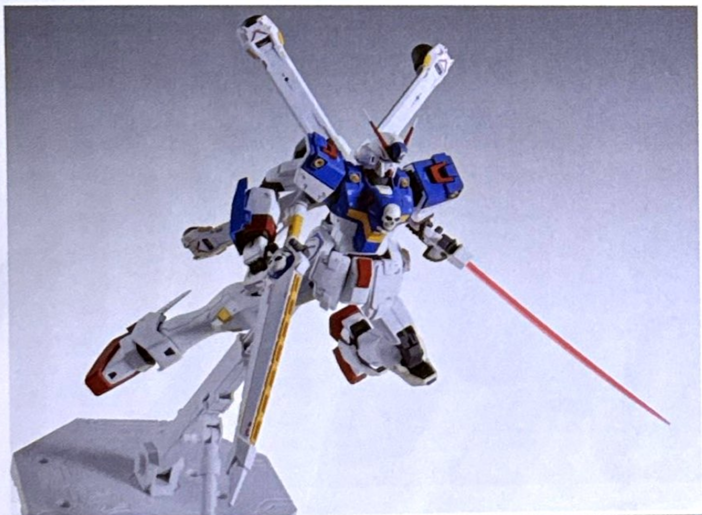






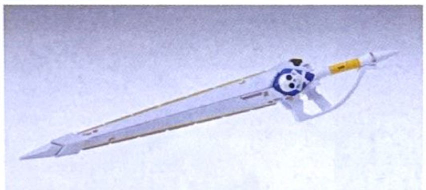






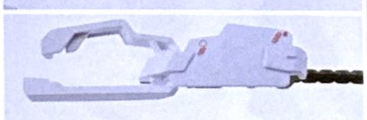


※ MG クロスボーン・ガンダム X1、X2 Ver.Ka は付属しません







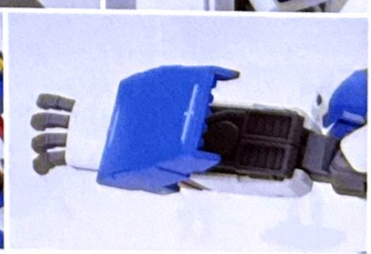












腕部のIフィールド・ジェネレーター。ハンドパーツも新規造形

RX-93-ν2
Hi-ν GUNDAM Ver.Ka

MG 1/100
RX-93-ν2
Hi-νガンダム Ver.Ka

出典作品『機動戦士ガンダム 逆襲のシャア ベルトーチカ・チルドレン』
2014年8月発売　7700円

「MG Hi-νガンダム」がスマートなシルエットでのリファイン版デザインであったのに対し、Ver.Kaでは原点となる出渕裕氏が描いた小説版イラストを追求したマッシブなデザインでの立体化となっている。当然、そのプロポーションは「MG νガンダム Ver.Ka」とも異なる。また、肩や脚部の装甲展開、および脚部スラスターの露出により、高機動モードへ変形可能。バックパックはテール・スタビライザー、ファンネル・ハンガー、プロペラント・タンクなどによりボリュームあるシルエットを構築している。フィン・ファンネルのパープルグラデーションカラーは水転写式デカールで再現できる。





コクピットハッチの開閉。胸部中央ブロックも可動する。内部はリニアシートも再現



脚部装甲の展開とスラスターの露出。装甲は多重構造となっている





巨大なリアスカートアーマーは２ヵ所が展開。展開時、スラスターが露出する





肩上面の装甲展開。側面下部の装甲は腕部の干渉を避けるための可動機構を搭載している





前腕部には左右それぞれにビーム刃を装着できる













専用台座により、フィン・ファンネルの展開を再現可能。ビーム・サーベルはファンネル・ラックに収納できる

H.W.S. EXPANSION SET FOR Hi-ν GUNDAM Ver.Ka

PREMIUM BANDAI
プレミアムバンダイ

MG 1/100
RX-93-ν2
Hi-νガンダム Ver.Ka
HWS拡張セット



出典作品『機動戦士ガンダム　逆襲のシャア ベルトーチカ・チルドレン』
2016年12月発売　3024円

「MG Hi-νガンダム Ver.Ka」のためのHWS（ヘビー・ウェポン・システム）。重装甲アーマーと多彩なウェポンがセットになっており、Hi-νガンダム H.W.S.を再現できる。重装甲アーマーはフロントアーマーやスラスターユニット、肩部ミサイルランチャーで構成。また武装はハイパー・メガ・シールド、ハイパー・メガ・ライフルなどが付属する。小説版で描かれたシールドのインクスポットデザインは水転写式デカールにより再現できる。通常の第1形態のほか、第2形態をVer.Kaオリジナルで完全新規デザイン。ハイパー・メガ・シールドの変形や装備の組み替えにより、H.W.S.の魅力を引き出している。





胸部アーマーは装甲の展開機構を搭載。ミサイルランチャーを内蔵している

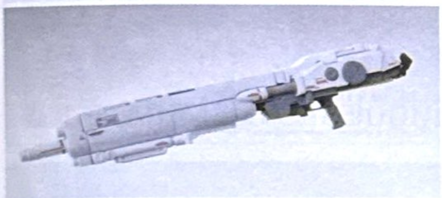


左腕にハイパー・メガ・シールドをマウントした第1形態。本体には胸部装甲ユニット、フロントアーマー装甲ユニット、脚部装甲兼スラスターユニットを装備

※ MG Hi-νガンダム Ver.Kaは付属しません



ハイパー・メガ・ライフルは新規造形。ニュー・ハイパー・バズーカは「MG Hi-νガンダム Ver.Ka」と同じ





大型のハイパー・メガ・シールド、ノーマルのシールドに着脱できる

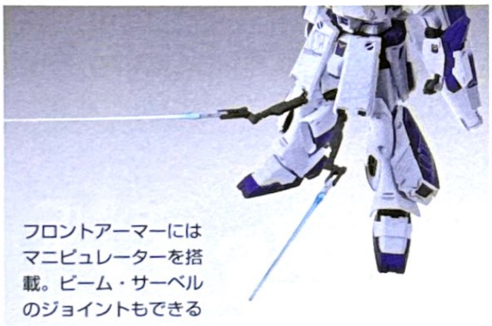




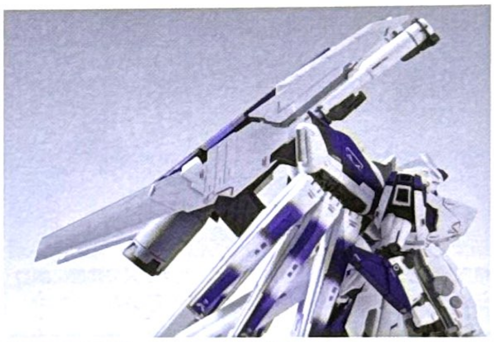








フロントアーマーにはマニピュレーターを搭載。ビーム・サーベルのジョイントもできる







新規デザインの第2形態。ハイパー・メガ・シールドは分割変形により背部へ換装。ニュー・ハイパー・バズーカは2丁を懸架

LM314V21
VICTORY TWO GUNDAM Ver.Ka



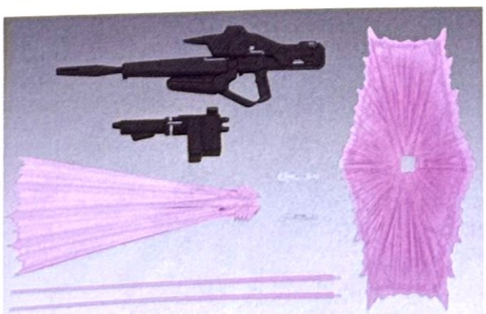
MG 1/100
LM314V21
V2ガンダム Ver.Ka

出典作品『機動戦士Vガンダム』
2015年12月発売　4950円

カトキ氏自らがメカデザインを手掛けたV2ガンダム初のMGモデルにしてVer.Ka。設定上は全高約15m、MGスケールでは全高約15cmと小型サイズながら、Vガンダム以上の複雑な変形を実現。V2コア・ファイターを中心にV2トップ・リム（上半身）、V2ボトム・リム（下半身）との分離・合体ができる。組み換えにより、V2トップ・ファイター、V2ボトム・ファイターにもなる。また、「MG Vガンダム Ver.Ka」同様、ラウンドフォルムにこだわり立体化。設計はCADながら、監修においてはカトキ氏が試作原型にパテ盛りすることで、曲面のニュアンスが伝えられている。ビーム・シールドのエフェクトパーツは、ホログラム加工によりビームの発光イメージが付与された。


精密射撃デバイスを装着した頭部。小サイズの頭部に関わらず、ディテールがしっかり彫り込まれている


精密射撃時、ビーム・ライフルの両サイドよりセンサーが展開。マルチプル・ランチャーのカバーは開閉式





ビーム・サーベルはヒジユニットに収納。エフェクトパーツのほか、シャクティのフィギュアも付属する

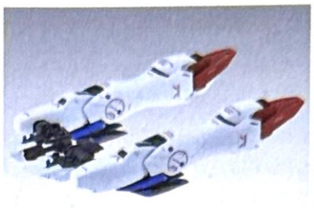




ミノフスキー・ドライブ・ユニット搭載のバックパック。カバー内には発振口を再現



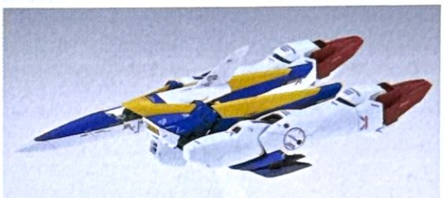
コア・ファイターとトップ・リム、ボトム・リムの合体でV2ガンダムとなる











コア・ファイターとトップ・リムでV2トップ・ファイター、コア・ファイターとボトム・リムでV2ボトム・ファイターとなる。コクピット用にウッソ、マーベットが付属

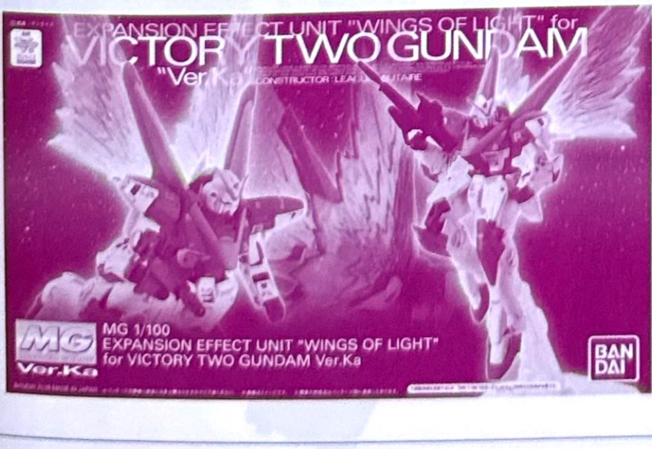
EXPANSION EFFECT UNIT" WING OF LIGHT"for VICTORY TWO GUNDAM Ver.Ka

PREMIUM BANDAI
プレミアム バンダイ

MG 1/100
V2ガンダム Ver.Ka用
拡張エフェクトユニット"光の翼"

出典作品『機動戦士Vガンダム』
2016年1月発売　2200円

光の翼を再現できる「MG V2ガンダム Ver.Ka」用のエフェクトパーツセット。クリアーピンク、クリアーブルーの光の翼エフェクトに加えて、パールホワイトの専用ベースが付属する。サイズ、モールドライン、形状、およびカラーリングに至るまで、カトキハジメ氏の監修で再現されている。





※ MG V2 ガンダム　Ver.Ka は付属しません

FA-78

FULLARMOR GUNDAM Ver.Ka

[GUNDAM THUNDERBOLT]

MG 1/100

FA-78 フルアーマー・ガンダム Ver.Ka

（GUNDAM THUNDERBOLT版）

出典作品『機動戦士ガンダム サンダーボルト』
2016年7月発売　7700円



MSVによって生み出されたフルアーマー・ガンダムのサンダーボルト仕様。コミック版では作者である太田垣康男氏がデザイン、さらにHG化、アニメ版を経て、MG Ver.Ka化された。アーマーはすべて着脱式で、胸のダクトはカバーとメッシュの2パターンから選べる。また、サンダーボルト版の特徴であるシーリングは、ビニール素材にシワを作ることで再現可能。RX-78 ガンダム本体は細身のプロポーションとなっており、フルアーマー時のボリューム感とのバランスが取られている。また、内部にはエマージェンシー・ポッドを収納可能。ディスプレイ用に専用台座が付属する。



胸部、腰、ヒザのミサイルハッチは開閉式。全弾発射シーンを再現できる。大型ランドセルのサブアームを使用することで、４枚のシールドを装備可能



大型ランドセルには
大型ビーム砲（右）、
6連装ミサイルポッド
ド（左）を搭載













ビーム・サーベルは本体ランドセル下
に配置。基部はアームで可動

MS-06R
ZAKUII HIGH MOBILITY "PSYCHO ZAKU" Ver.Ka
[GUNDAM THUNDERBOLT]

MG 1/100
MS-06R 高機動型ザク "サイコ・ザク" Ver.Ka (GUNDAM THUNDERBOLT版)

出典作品『機動戦士ガンダム サンダーボルト』
2016年12月発売　9900円



フルアーマー・ガンダムと対となるライバル機をサンダーボルト版MG ザクとして完全新規造形したモデル。デザインはMS-06R-2 高機動型ザクⅡをベースに、直線的なラインとバーニア類が追加されている。マシッブかつ高頭身のプロポーションはVer.Kaならではと言える。大型ランドセルには3基のロケットブースターに加えて、ジャイアント・バズなど多彩な武装を搭載可能。ランドセルはサブアームが展開し、シュツルム・ファウストなどの武装も保持できる。関節部や動力パイプは、ビニール素材でシーリング処理を再現。大型ロケットブースターを支えるサポートスタンドや本体用の専用台座も付属する。



頭部形状はオーソドックスなザクⅡのデザインながら、頭身は高いため、MSVにおける高機動ザクⅡとはプロポーションが異なる。右手にはビーム・バズーカを携行

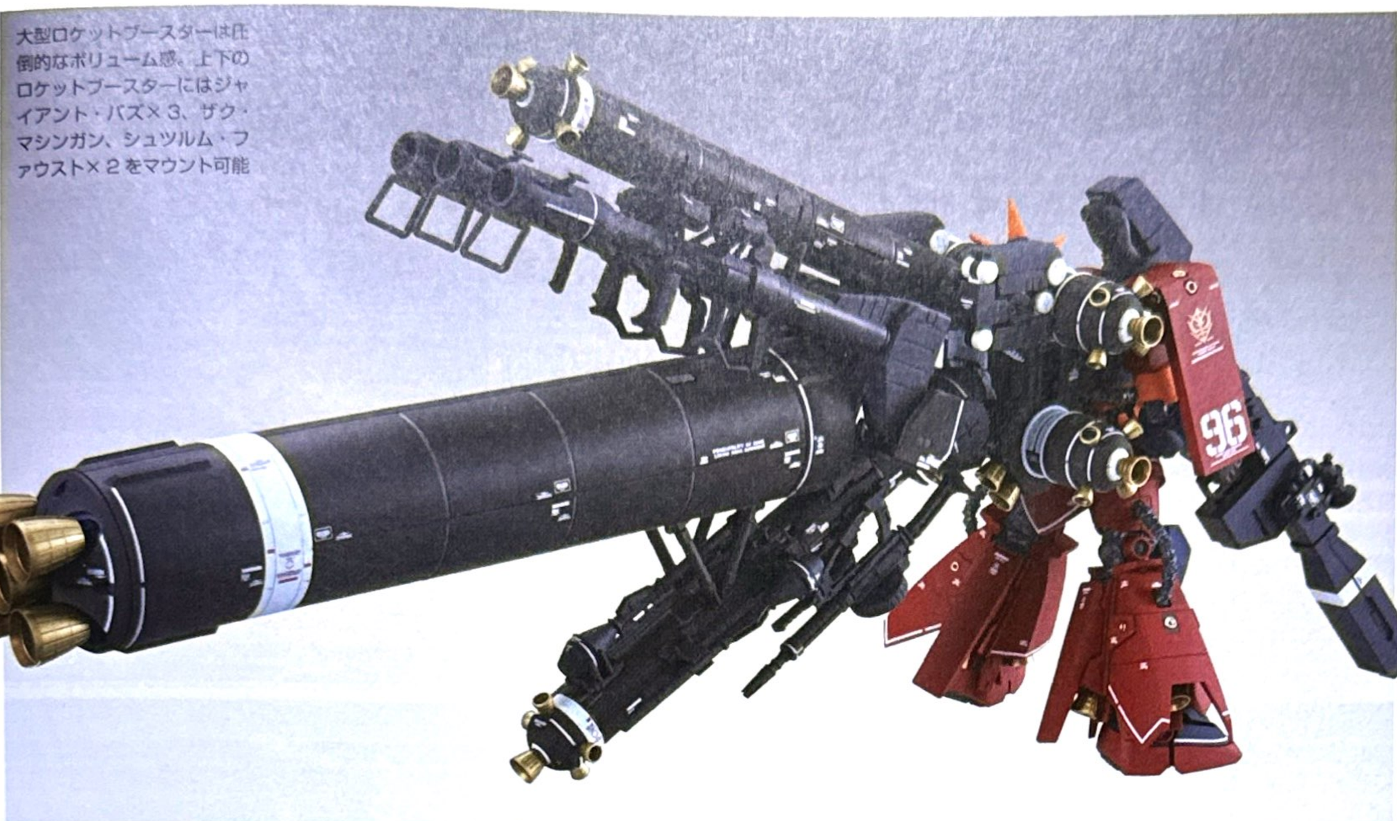
大型ロケットブースターをサポートスタンドで保持することで、接地ディスプレイも可能



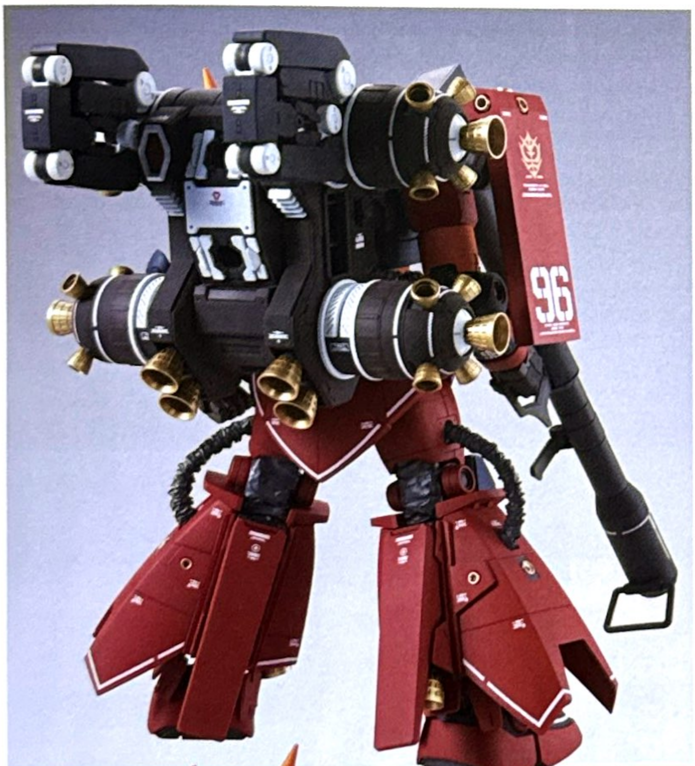








大型ロケットブースターは圧倒的なボリューム感。上下のロケットブースターにはジャイアント・バズ×３、ザク・マシンガン、シュツルム・ファウスト×２をマウント可能











WEAPON & ARMOR HANGER FOR FULL ARMOR GUNDAM[GUNDAM THUNDERBOLT]"Ver.Ka"

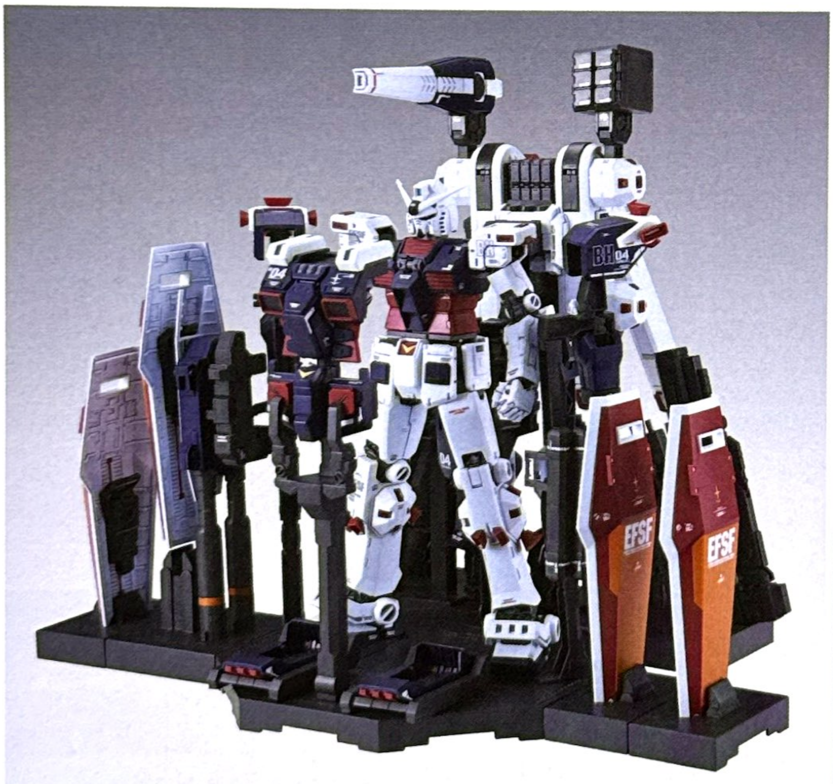
PREMIUM BANDAI
プレミアム バンダイ

MG 1/100
ウエポン&アーマーハンガー FOR フルアーマー・ガンダム Ver.Ka（GUNDAM THUNDERBOLT版）

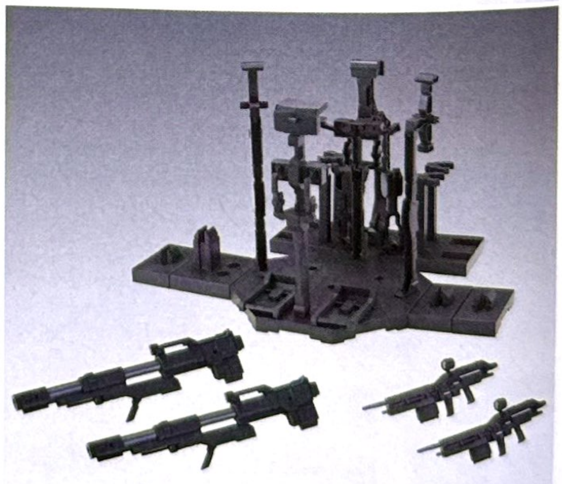
出典作品『機動戦士ガンダム サンダーボルト』　2016年11月発売　2860円

「MG フルアーマー・ガンダム Ver.Ka（GUNDAM THUNDERBOLT版）」をディスプレイするためのハンガーセット。劇中における艦内での出撃前をイメージしつつ、RX-78 ガンダム本体、およびパージ状態の各アーマー、武装を飾ることができる。また、アーマーハンガーのほか、追加武装としてビーム・ライフル×2、ハイパー・バズーカ×2が付属。ビーム・ライフルはフルアーマー・ガンダム専用で、ガンプラ初の立体化となる。また、オリジナルギミックとしてビーム・ライフル2丁は縦方向に合体できる。ハイパー・バズーカは同セット用に太田垣康男氏が新規デザイン。2丁を横に連結することで、2連装砲となる。ボックスアートは太田垣氏の描き下ろし。















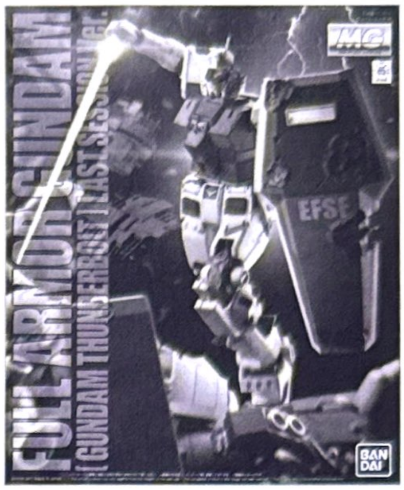
※ MG フルアーマー・ガンダム Ver.Kaは付属しません

FA-78
FULL ARMOR GUNDAM[GUNDAM THUNDERBOLT]LAST SESSION Ver.

PREMIUM BANDAI プレミアム バンダイ

MG 1/100
フルアーマー・ガンダム(GUNDAM THUNDERBOLT版) ラストセッションVer.

出典作品『機動戦士ガンダム サンダーボルト』 2017年8月発売 7480円



MS-06R
ZAKUII HIGH MOBILITY TYPE"PSYCHO ZAKU"[GUNDAM THUNDERBOLT]LAST SESSION Ver.

PREMIUM BANDAI プレミアム バンダイ

MG 1/100
高機動型ザク "サイコ・ザク"(GUNDAM THUNDERBOLT版) ラストセッションVer.

出典作品『機動戦士ガンダム サンダーボルト』 2017年9月発売 9350円



最終決戦仕様のフルアーマー・ガンダム、およびサイコ・ザクをそれぞれラストセッションVer.として立体化。どちらも新規造形の損傷パーツにより、ダメージ状態を再現。フルアーマー・ガンダムはアーマーなしのRX-78 ガンダム、サイコ・ザクはブースターをオミットした本体をメインに、専用台座、デブリパーツ、新規水転写式デカールなどが付属する。サイコ・ザクは各種武器もセットとなっている。





2体そろえればサンダーボルト宙域での最終決戦を再現可能。デブリはディスプレイ用アームで保持できる

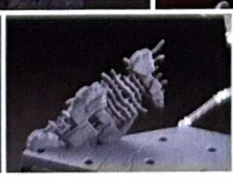
















ガンダムのセット内容。シールドもダメージ仕様



ザクには頭部や左腕などの破損パーツが付属

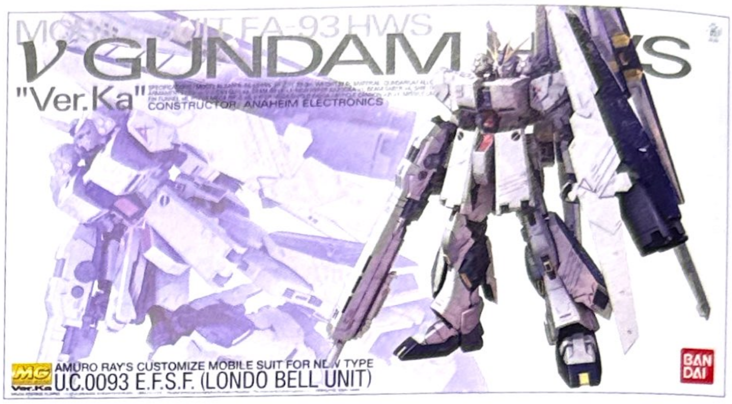
FA-93

ν GUNDAM HWS Ver.Ka

PREMIUM BANDAI
プレミアム バンダイ

MG 1/100
FA-93
νガンダム HWS Ver.Ka

出典作品『機動戦士ガンダム 逆襲のシャア MSV』
2016年12月発売
10340円

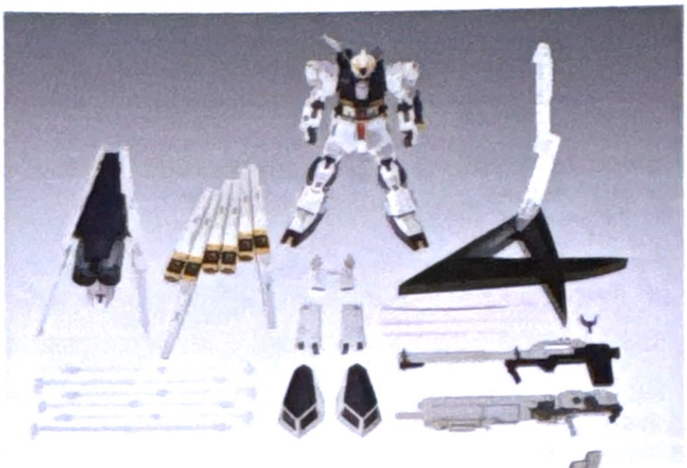


HWS（ヘビーウェポンシステム）装備のνガンダム。「MG νガンダム Ver.Ka」本体とのセットアイテムで、成型色は通常版と異なるウォームカラーへと変更されている。また、サイコフレームはライトブルーを採用。カトキ氏の設定画稿をイメージしたカラーリングとなった。HWSの重装甲アーマーは胸部装甲ユニット、フロントアーマー装甲ユニット、脚部装甲兼スラスターユニットで構成。各装甲にはミサイルハッチの開閉やマニピュレーターの展開など、多彩なギミックが盛り込まれている。ハイパー・メガ・シールドのほか、ビーム・ライフルをハイパー・メガ・ライフルに換装するための追加パーツも付属する。



HWSは着脱式。発動モードではライトブルーのサイコフレームが露出する











脚部スラスターユニットは内部ディテールも再現



HWS EXPANSION SET FOR ν GUNDAM Ver.Ka

PREMIUM BANDAI プレミアム バンダイ

MG 1/100 νガンダム Ver.Ka用 拡張セット

出典作品『機動戦士ガンダム 逆襲のシャア』
2016年12月発売　2592円

νガンダム用のHWS（ヘビーウェポンシステム）単体アイテム。「MG νガンダム Ver.Ka」との組み合わせで、HWS型を再現できる。成型色は通常版と合わせたホワイトカラー。ハイパー・メガ・ライフルは再現用の追加パーツのみが付属する。





※ MG Hi-νガンダム Ver.Kaは付属しません

XM-X2ex
CROSSBONE GUNDAM X2 CUSTOM Ver.Ka

PREMIUM BANDAI
プレミアム バンダイ

MG 1/100
XM-X2ex
クロスボーン・ガンダムX2改 Ver.Ka

出典作品『機動戦士クロスボーン・ガンダム』 2017年6月発売 4840円

MG Ver.Kaにおけるクロスボーン・ガンダム第4弾となったX2改。木星帝国によって復元された機体で、X2との違いとなる背部メインスラスターを新規造形にて再現している。2基のサブスラスターと放熱フィンを大型化したスラスターは“改”ならではの形状である。武装面ではロングバレルのバスターランチャーを新規造形。オリジナルギミックとして、後方レスト部やグリップや砲身の折り畳みによりコンパクト形態にできる。また、専用右手パーツにより、バスターランチャーの安定した手持ちが可能となる。その他、武装としてザンバスターやブランド・マーカー、スクリュー・ウェッブなどクロスボーン・ガンダム用の武装一式が付属する。





頭部形状はX2を継承。X1と異なるブレードアンテナとなっている。
スラスターは放熱フィンなどが大型化されている











バスターランチャーの砲撃形態とコンパクト形態。コンパクト形態時、バレルは 180°回転してから折り畳む



バスターランチャーは全長約21.5cm。両手持ちにより、劇中イメージ通りに砲撃ポーズをとれる

MSZ-010
ZZ GUNDAM Ver.Ka

MG 1/100
MSZ-010
ダブルゼータガンダム Ver.Ka

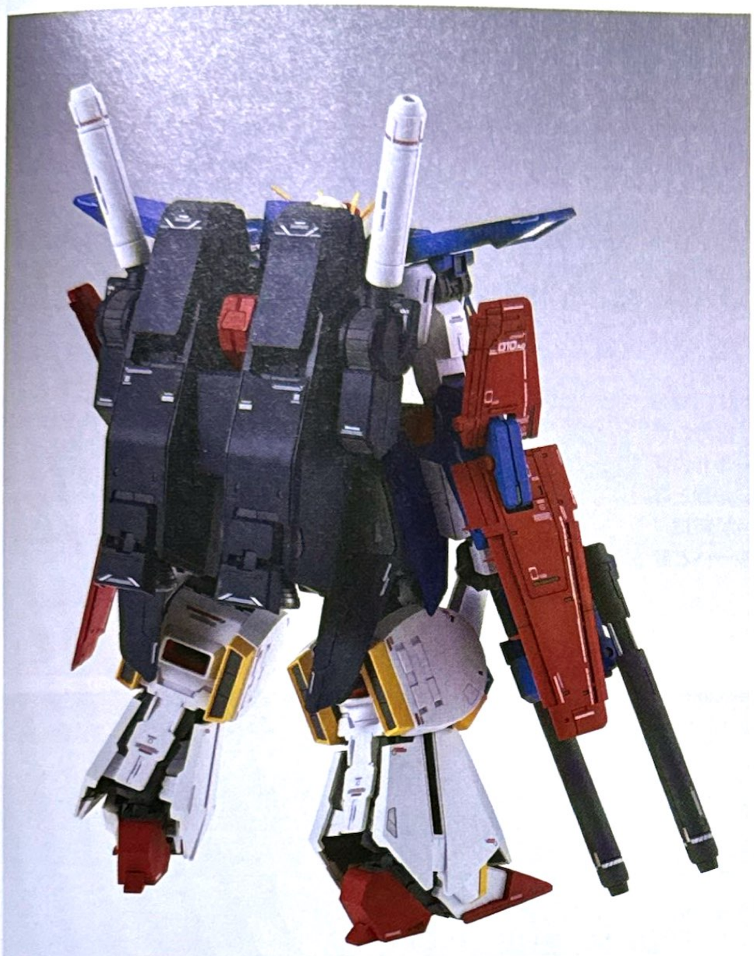
出典作品『機動戦士ガンダムZZ』
2017年12月発売　6600円

ガンプラ最新技術にて立体化されたVer.Ka版ダブルゼータ。「MG ダブルゼータガンダム」より18年を経て開発されており、コア・ファイターを中心とした合体分離変形を可能としながら、MS形態では劇中イメージのプロポーションと高い可動性能を両立している。また、可動においては、胴体の3軸構造により、内部にコア・ファイターを収納しながらも、ひねりや前屈を実現。胸部のインテークなどシルバーパーツはエクストラフィニッシュ仕様で、メカニカルな質感を追求。また、コア・トップ、コア・ファイター、コア・ベースの3機ドッキング形態Gフォートレスも再現できる。





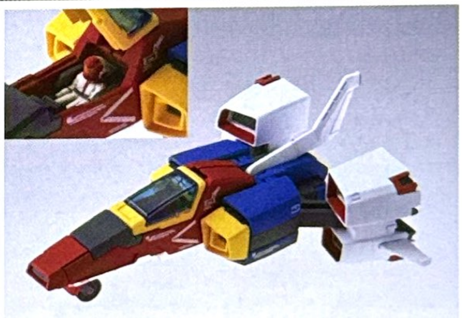
一見、マッシブながら、長めの四肢や細身のウエストにより、メリハリのあるフォルムとなっている。アニメーション設定をも取り入れたプロポーションも特徴



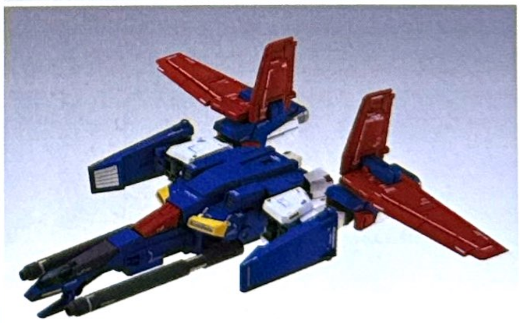




合体完了時のポージングも劇中イメージで再現できる



クリアーブルーのキャノピーは開閉式。中にはジュドーのフィギュアが着座



上半身になるコア・トップ





3 機が合体した G フォートレス



下半身になるコア・ベース

MSZ-010S
ENHANCED ZZ GUNDAM Ver.Ka

PREMIUM BANDAI プレミアムバンダイ

MG 1/100
MSZ-010S 強化型 ダブルゼータガンダム Ver.Ka

出典作品『機動戦士ガンダムZZ』　2017年12月発売　8800円

ガンプラとして初の立体化となった最終決戦仕様のダブルゼータガンダム。「MG ダブルゼータガンダム Ver.Ka」をベースに、ジェネレーターの高出力化や、推力の増強が図られた改修部分を新規造形で再現している。肩アーマーや腕部シールドのほか、バックパックの水平尾翼やノズルなどを大型化。また、ふくらはぎや足先、かかとなどの形状も刷新されている。大型ビーム・サーベルに合わせて、専用の持ち手が新規パーツで追加。成型色は通常版のホワイトからアニメをイメージしたライトブルーへと変更されている。また、ノーマルのダブルゼータガンダムもコンパチで組める。





各部の大型化により、ノーマルよりワンランク上のマッシブなフォルムとなった。また、成型色の変更により、通常版と印象が異なる。水転写式デカールは強化型用に新規デザイン





ダブルゼータガンダム本体と強化型パーツがセットになっている





ミサイルポッドは開閉式。大型化により、装弾数が拡充されている

EMHAMCED EXPANSION PARTS FOR ZZ GUNDAM Ver.Ka

PREMIUM BANDAI プレミアム バンダイ

MG 1/100 ダブルゼータガンダム Ver.Ka用 強化型拡張パーツ

出典作品『機動戦士ガンダムZZ』　2017年12月発売　2200円

「MG ダブルゼータガンダム Ver.Ka」を強化型にアップデートするための拡張パーツセット。大型化された肩アーマーや腕部シールド、形状の異なるふくらはぎや脚部などを4枚のランナーで再現している。ノーマル状態と形状の異なるスカートやふくらはぎ部、大型ビーム・サーベルなどの成型色は通常版と同じホワイトを基調としたカラーリングを採用。強化型ダブルゼータガンダム用デザインの水転写式デカールが付属する。





※ MG ダブルゼータガンダム Ver.Ka は付属しません

RX-0
UNICORN GUNDAM02 BANSHEE Ver.Ka



MG 1/100
RX-0 ユニコーンガンダム2号機 バンシィ Ver.Ka

出典作品『機動戦士ガンダムUC』
2018年3月発売　5500円

ユニコーンガンダムのバリエーションとなる2号機バンシィ。1号機と対照的な黒イメージのダークカラーを成型色にて再現。サイコフレームはクリアーイエロー、黄金の鬣はゴールドメッキ仕様となっている。襟周りの形状はアニメ準拠の「MG バンシィ」と異なる。1号機と同じく、ユニコーンモードからデストロイモードへ変身できる。武装はシールドのほか、ビーム・マグナム、ハイパー・バズーカ、ビーム・サーベルが付属する。肩部マーキングとしてアナハイム仕様、ネェル・アーガマ所属機仕様のほか、小説版におけるゼネラル・レビル所属機仕様などのデザインも収録されている。











バンシィのデストロイモード。左肩の「GR」のマーキングはゼネラル・レビル仕様





ハイパー・バズーカを装備
状態のユニコーンモード









RX-0
UNICORN GUNDAM02 BANSHEE Ver.Ka

PREMIUM BANDAI プレミアム バンダイ

MG 1/100 小説版ユニコーンガンダム2号機 バンシィ Ver.Ka 最終決戦仕様

出典作品『機動戦士ガンダムUC』
2012年3月発売　5500円

小説版バンシィの最終決戦仕様をクリアーグリーンのサイコフレームで再現したプレバン限定アイテム。Ver.Ka版の色変えバリエーションとなっており、黄金の鬣はツヤ消しのゴールドメッキ仕様、装甲の成型色も通常版と異なるダークカラーとなっている。箔押し仕様の水転写式デカールが付属する。







LM314V23/24

VICTORY TWO ASSAULT BUSTER GUNDAM Ver.Ka

PREMIUM BANDAI プレミアム バンダイ

MG 1/100

LM314V23/24
V2アサルトバスターガンダム Ver.Ka

出典作品『機動戦士Vガンダム』 2018年12月発売 7700円

長距離支援用のバスターパーツと中距離戦闘用のアサルトパーツを新規造形したV2ガンダムの強化装備仕様。フル装備のV2アサルトバスターガンダムのほか、装備組み替えによりV2バスターガンダム、V2アサルトガンダムを再現できる。また、追加パーツはコア・ファイターへの装着も可能。さらにV2ガンダム本体は、通常版からアップデート。肩や腕のフレーム、背面装甲など一部パーツが新規造形されている。そして、ゴールド部分をツヤ消しメッキ仕様とするなど、通常版から成型色を一新。アサルトバスター用に新規デザインされたマーキング用水転写式デカールが付属する。




V2 バスターガンダム（左）と
V2 アサルトガンダム（右）








追加武装を保持するために V2 ガンダム本体もアップデート。また、ゴールドメッキにより、最終形態のスペシャル感を演出



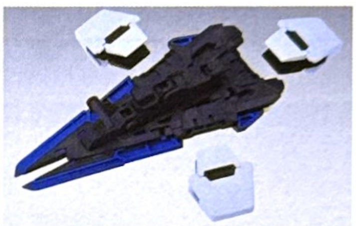
背部にメガ・ビーム・キャノンとスプレー・ビーム・ポッドを装備。ミノフスキー・ドライブ・ユニットには別売りのエフェクト「光の翼」も装着できる











マイクロ・ミサイル・ポッドなど各武装には展開ギミックを搭載。メガ・ビーム・シールドは3基のバリア・ビットが分離・展開できる

EXPANSION PARTS for VICTORY TWO GUNDAM Ver.Ka

PREMIUM BANDAI
プレミアム バンダイ

MG 1/100
V2ガンダム Ver.Ka用 アサルトバスター拡張パーツ

出典作品『機動戦士Vガンダム』 2018年12月発売 2750円

強化装備バスターパーツとアサルトパーツのセット。別売りの「MG V2ガンダム Ver.Ka」との組み合わせで、V2アサルトバスターガンダムを再現できる。ゴールド部のパーツはゴールド成型色となっている。













※ MG V2 ガンダム Ver.Ka は別売りです

XM-X0
CROSSBONE GUNDAM X0 Ver.Ka

PREMIUM BANDAI プレミアム バンダイ

MG 1/100
XM-X0 クロスボーン・ガンダムX0 Ver.Ka

出典作品『機動戦士クロスボーン・ガンダム ゴースト』
2019年8月発売　4840円

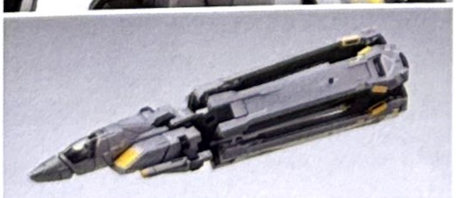
本来、クロスボーン・ガンダムX3となる予定だった幻の機体“ゴースト”をVer.Kaで再現。X0の特徴的な銀色に輝く外装として、シルバー成型色を採用している。また、ブレードアンテナなどX1と異なる形状を新規造形にて再現。胸部ダクトには精密ディテールが施されている。また、「MG クロスボーン・ガンダムX1 Ver.Ka」のバリエーションだが、内部フレーム用の一部ランナー素材がABSからKPSへとアップデートされている。武装は、多目的攻撃兵装“クジャク”、バタフライバスターを追加。クジャクはスマッシャーモードからバスターモードへ組み替えなしで変形できる。

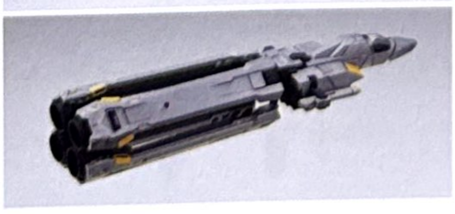



頭部のブレードアンテナ、脚部ダクトは新規造形。F91系列らしいフェイスオープンもできる















多目的攻撃兵装"クジャク"。バスターモード（上）からスマッシャーモード（下）へ変形可能









ABCマントも付属。バタフライバスターはサーベルモードからガンモードへ変形可能

FAZZ Ver.Ka



MG 1/100
FA-010A FAZZ Ver.Ka

出典作品『ガンダム・センチネル』
2020年2月発売
12100円

ダブルゼータガンダム用増加装甲（フルアーマー・システム）の評価試験を行うために開発されたFAZZを、武装と追加装甲の新解釈で立体化。設定と異なり、MGオリジナル機構として増加装甲は着脱機構を採用した。「MG ダブルゼータガンダム Ver.Ka」をベースとしながら、FAZZ特有の頭部を新規造形。また、装甲パーツのほか、大型のハイパー・メガ・カノン搭載のバックパックを追加。ダブル・ビーム・ライフルは新規造形で、ダブルゼータガンダム用とデザインが異なる。水転写式デカールのマーキングにより、FAZZ小隊3機の胸部ナンバリング04～06をそれぞれ再現できる。



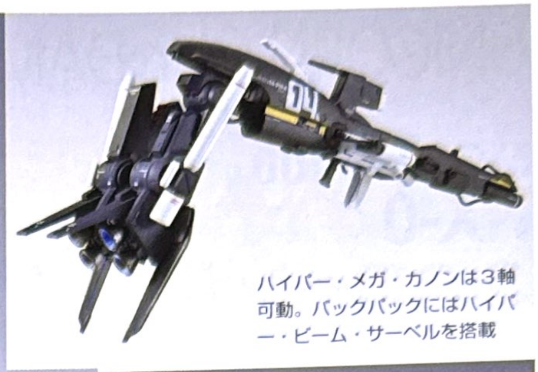




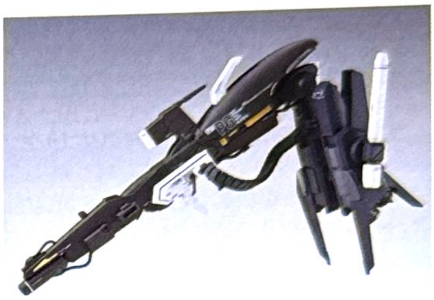
各ミサイルハッチは開閉式。胸部は外側に可動軸が設けられている



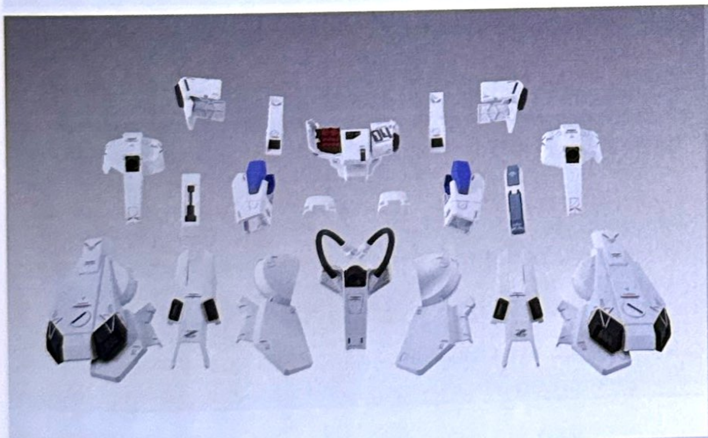




ハイパー・メガ・カノンは３軸可動。バックパックにはハイパー・ビーム・サーベルを搭載











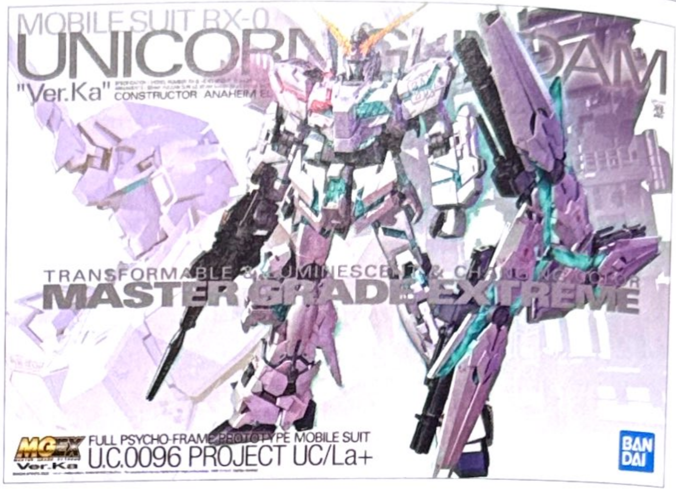


増加装甲を外すとグレーの強化型ダブルゼータガンダムになる。腹部にはコア・ファイターを内蔵

RX-0
UNICORN GUNDAM Ver.Ka

MGEX 1/100
RX-0
ユニコーンガンダム Ver.Ka

出典作品『機動戦士ガンダムUC』
2020年9月発売
25300円



ガンプラ40周年、MG25周年のダブルアニバーサリーアイテムとして誕生したハイエンドブランドMGEXの第1弾。極限の "発光機構" をテーマに開発されており、変身を可能としながら、瞳や頭部のカメラの点灯、さらにサイコフレームの発光や色調変化を実現している。変身と発光の両立の理由は、フレキシブルLEDシートの採用にある。その名の通りシート状となっており、省スペースで内蔵可能。さらに折り曲げられるので、変身はもちろん、可動にも対応できる。また、本体は新規造形となっており、プロポーションも刷新。アニメーション設定をイメージさせるマッシブなフォルムとなった。



サイコフレームはデストロイモードのレッド、覚醒時のグリーンの発光を再現。発光演出は台座のスイッチで切り替え可能

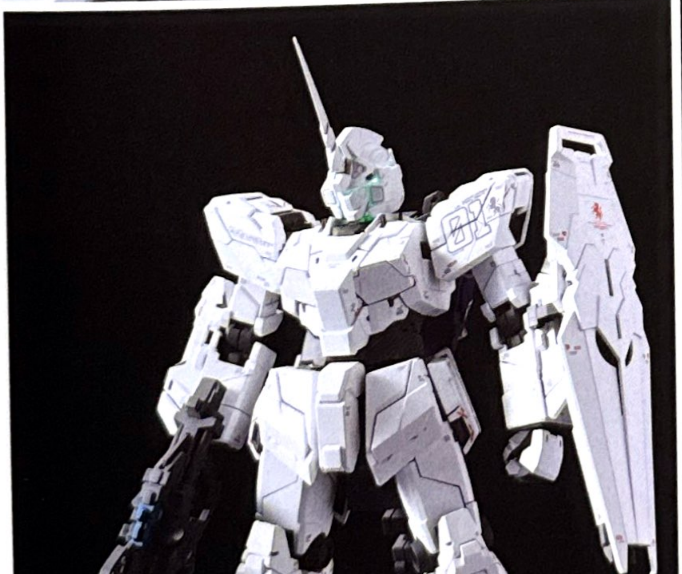






パッケージの異なる［プレミアム "ユニコーンモード" ボックス］







フレキシブルLEDシートを内蔵しながら、ユニコーンモードからデストロイモードへの変身も可能



シールド・ファンネル3枚が合体した防御フォーメーションは、ジョイントパーツと専用スタンドで再現

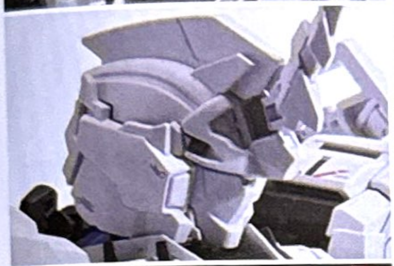


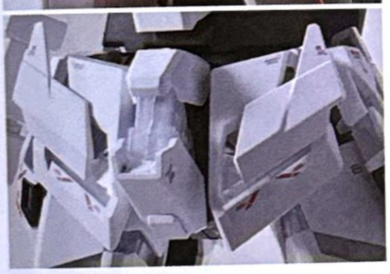
シールドは本体台座のリード線とつながっており、本体から離れた状態でも発光ギミックは有効










専用台座はメンテナンス用の
MS ケージにもなる









各種武装のほか、バナージのパイロットフィギュア、さらに爆風で吹き飛ぶカーディアス・ビストも付属

XXXG-00W0 WING GUNDAM ZERO Ver.Ka

MG 1/100 XXXG-00W0 ウイングガンダムゼロEW Ver.Ka

出典作品『新機動戦記ガンダムW Endless Waltz』
2020年11月発売
6050円



完成品を含めて幾度となく立体化されてきたウイングガンダムゼロEWを、Ver.Kaとして完全新規造形でMG化したモデル。OVA公開から23年を経て、ガンプラ最新技術を伴って開発。いわゆるモデル体型の高頭身プロポーションにおける可動性能を追求している。そしてネオバード形態は大気圏外モード、さらに大気圏内モードの2種類を再現。最大の武器であるツインバスターライフルは並列連結合体、分離機構とともに、腕部内蔵のジョイントによる保持機構も盛り込まれた。また、Ver.Kaではふたつの折り畳み機構によるライフルのウイングバインダーへの収納も可能である。



コクピットハッチは開閉式。ヒイロのフィギュアは着座用と、立ちポーズが付属する



頭身の高い傾向にあるVer.Kaにおいても随一の細身の高頭身プロポーション。青と白の成型色は濃淡2色ずつ採用



翼＝ウイングバインダーの展開。ジョイントアームとの組み合わせにより、フレキシブルに可動する



肩に引き出し機構があり、ライフルの正面両手持ちができる



ネオバード形態の大気圏外モード。主翼が折りたたまれている



大気圏内モード。大気圏外モードとはウイングバインダーの展開が異なる





モデル体型の長い脚ながら、ヒザの可動域は広い。太モモ装甲のスライド、つま先の可動もあり、ヒザ立ちも美しく決まる

XM-X1C
CROSSBONE GUNDAM X1 PATCHWORK Ver.Ka

PREMIUM BANDAI プレミアム バンダイ

MG 1/100
XM-X1C クロスボーン・ガンダムX1（パッチワーク）Ver.Ka



出典作品『機動戦士クロスボーン・ガンダム 鋼鉄の7人』
2021年5月発売　4950円

X1改・改、通称スカルハートをベースにX3の予備パーツで改修したトビア機パッチワークをVer.Kaとして立体化。パッチワークの由来でもあるX1、X3を合わせたカラーリングを成型色にて再現。頭部や右肩、コア・ファイターなどはX1、左肩や胸部、Iフィールド・ジェネレーター搭載の腕部はX3である。また、左腕部のフックシールドは新規造形で、フックの射出ギミックとともに再現。またマーキング用に新規エンブレムを収録した水転写式デカールが付属する。X0と同じく内部フレームの一部ランナーがABS素材からKPSへとアップデートされている。


右肩はX1、左肩はX3と、それぞれ異なるカラーリングを成型色にて再現。ちなみ両肩同色でも組める


コア・ファイターはX1のカラーリング。キャノピーはクリアーパーツ製、開閉式で、トビアが着座



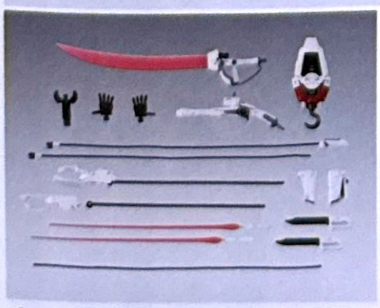








クロスボーン・ガンダム
共通となるABCマント
も付属する





ザンバスター、ビーム・ザンバーなどの基本兵装も付属する



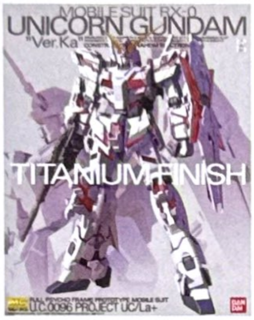
新規造形のフックシール
ド。先端のフック部分は
リード線との組み合わせ
で射出形態を再現できる

■期間限定・特別版

メッキ加工と特殊塗装を組み合わせたチタニウムフィニッシュ仕様。期間限定、またはプレバンなどで販売された。

MG 1/100 ユニコーンガンダム Ver.Ka チタニウムフィニッシュ

出典作品『機動戦士ガンダムUC』
2009年3月発売
8800円







ガンダム30周年記念に限定生産（2009年）された期間限定アイテム。白の成型色にはホワイトメッキ加工、角のゴールド部分には箔デカールが採用された

MG 1/100 MSN-06S シナンジュ〔Ver.Ka〕チタニウムフィニッシュ

出典作品『機動戦士ガンダムUC』
2010年2月発売
13200円





MG 1/100 RX-93 νガンダム〔Ver.Ka〕チタニウムフィニッシュ

出典作品『機動戦士ガンダム 逆襲のシャア』
2013年11月発売　17600円





■ガンダムベース限定品

チタニウムフィニッシュやクリアー仕様など、特別なVer.Kaがガンダムベースにて販売されている。

MG 1/100 ガンダムベース限定 MSN-04 サザビー Ver.Ka [スペシャルコーティング]

出典作品『機動戦士ガンダム 逆襲のシャア』
2018年7月発売
19800円







各所にメッキ加工やメタリック成型色を採用した豪華仕様。本体の赤装甲は2色のメッキ加工となっている

MG 1/100 ガンダムベース限定 V2アサルトバスターガンダムVer.Ka [チタニウムフィニッシュ]

出典作品『機動戦士Vガンダム』
2020年5月発売
16500円





MG 1/100 ガンダムベース限定 FAZZ Ver.Ka [チタニウムフィニッシュ]

出典作品『ガンダム・センチネル』
2020年8月発売
24200円





MGEX 1/100 ガンダムベース限定 ユニコーンガンダム Ver.TWC

出典作品「機動戦士ガンダムUC」
2020年12月発売
27500円





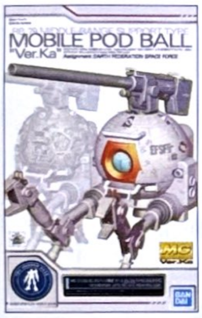
お台場の実物大立像に合わせて、水転写デカールを刷新。バックパックもTWC仕様で新規造形





MG 1/100 ガンダムベース限定 ボール Ver.Ka [メカニカルクリア]

出典作品「機動戦士ガンダム」
2021年9月発売
2750円





MG 1/100 ガンダムベース限定 ウイングガンダムゼロEW Ver.Ka [クリアカラー]

出典作品「新機動戦記ガンダムW Endless Waltz」
2021年12月発売　6050円





MG 1/100 ガンダムベース限定 ウイングガンダムゼロEW Ver.Ka [チタニウムフィニッシュ]

出典作品「新機動戦記ガンダムW Endless Waltz」
2022年12月発売　15950円





■プレミアムバンダイ限定

MG 1/100 サザビー Ver.Ka & RE/100 1/100 ナイチンゲール用 拡張ファンネルエフェクトセット

出典作品「機動戦士ガンダム 逆襲のシャア」
2015年7月発売
1870円





■GUNDAM SIDE-F限定品

ガンダムパーク福岡のショップエリア「SIDE-F」でも限定Ver.Kaが登場！

MG 1/100 GUNDAM SIDE-F限定 RX-93 νガンダム Ver.Ka (サイコフレーム発動イメージカラー)

出典作品「機動戦士ガンダム 逆襲のシャア」
2022年8月発売
7700円



劇中サイコフレーム発動時をイメージして本体にグリーン系の成型色を採用。ネイビーブルーの箇所はラメ入り成型となっている





■イベント限定品

ガンプライベントなどで販売された限定品。一部、ガンダムベースで販売されることもある。

MG 1/100 FA-93-ν2
HWS Hi-νガンダム H.W.S. Ver.Ka
メカニカルクリア



出典作品「機動戦士ガンダム
逆襲のシャア ベルトーチカ・チルドレン」
2015年11月発売　11550円

MG 1/100
サザビーVer.Ka
メカニカルクリア



出典作品「機動戦士ガンダム
逆襲のシャア」
2016年8月発売　9900円

MG 1/100
ダブルゼータガンダム Ver.Ka
[クリアカラー]



出典作品「機動戦士ガンダムZZ」
2018年12月発売
6600円

MG 1/100
高機動型ザク"サイコ・ザク" Ver.Ka
(GUNDAM THUNDERBOLT版)
[ハーフメカニカルクリア]



出典作品「機動戦士ガンダム
サンダーボルト」
2019年4月発売　9900円

COUTION

※本書に掲載されている商品は10%税込み表示となります。
※本書に掲載されている「アクションベース(1~5)」と「GPベース」は別売となります。商品には付属しません(一部を除く)。
※本書に掲載されている一部のアイテム(プレミアムバンダイ、限定品など)には、販売が終了しているものがあります。ご注意ください。
※データは2023年4月時点のものです。

月刊ホビージャパン2023年6月号付録
MG Ver.Ka オールキットガイド
MASTER GRADE Ver.Ka ALL KIT GUIDE

STAFF

企画・編集／木村 学
編集／桑木貴章

カバーデザイン／広井一夫 [WIDE]
本文デザイン／広井一夫 [WIDE]、YUMEX+クニノ

協力／BANDAI SPIRITS ホビーディビジョン
監修／バンダイナムコフィルムワークス
写真／インタニヤ

分売不可
Printed in Japan
印刷所　大日本印刷株式会社


MOBILE SUIT MSZ-006
ZETA GUNDAM
"Ver.Ka"
SPECIFICATION / MODEL NUMBER
ARMAMENTS
62.3t, MATERIAL : GUNDARIUM ALLO
SHIELD ×1
ECTRONICS
15+
"Ver.Ka" ZETA GUNDAM
Gundam Models Designed and Produced by Ka
"A.E.U.G. PROTO TYPE TRANSFORMABLE MOBILE SUIT
MOBILE SUIT MSZ-006
ZETA GUNDAM
"Ver.Ka" A.E.U.G. PROTO TYPE TRANSFORMABLE
Gundam Models Designed and Prod
MOBILE SUIT MSZ-006
ZETA GUNDAM
DAI NAMCO
OTO TYPE TRANSFORMABLE MOBILE SUIT
C.0087(A.E.U.G.)
E SUIT MSZ-006
A GUNDAM
E.U.G. PROTO TYPE TRANSFORMABLE MOBILE
ndam Models Designed and Produced by Ka
*This package contains one set of "MG 1/100 ZETA GUNDAM Ver.Ka".
*The actual product may vary slightly from the images on the package.
*The images are for illustrative purposes only.
BAN DAI



MONTHLY HOBBY JAPAN / JUN.2023 ISSUE / NO.648 / SEPARATE VOLUME APPENDIX

MASTER GRADE Ver.Ka ALL KIT GUIDE

MG MASTER GRADE
Ver.Ka

月刊ホビージャパン2023年6月号付録 分売不可
Printed in Japan
Hobby JAPAN